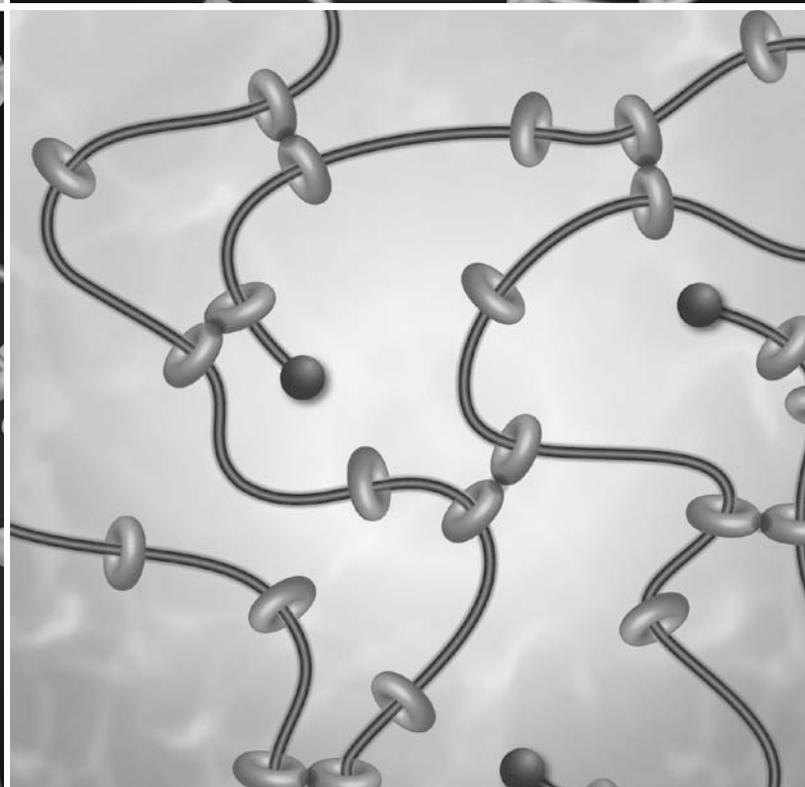
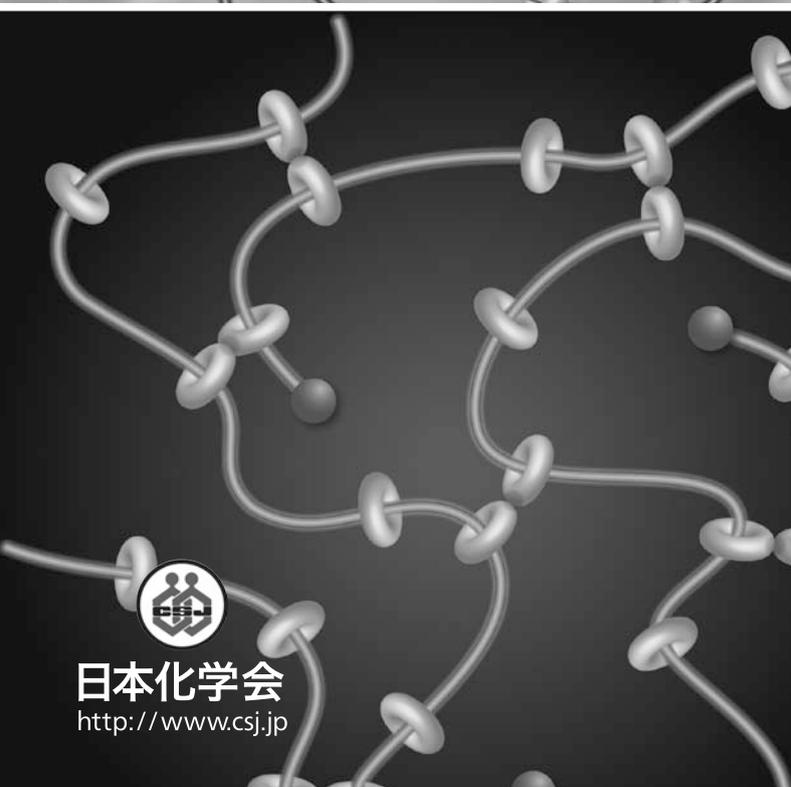
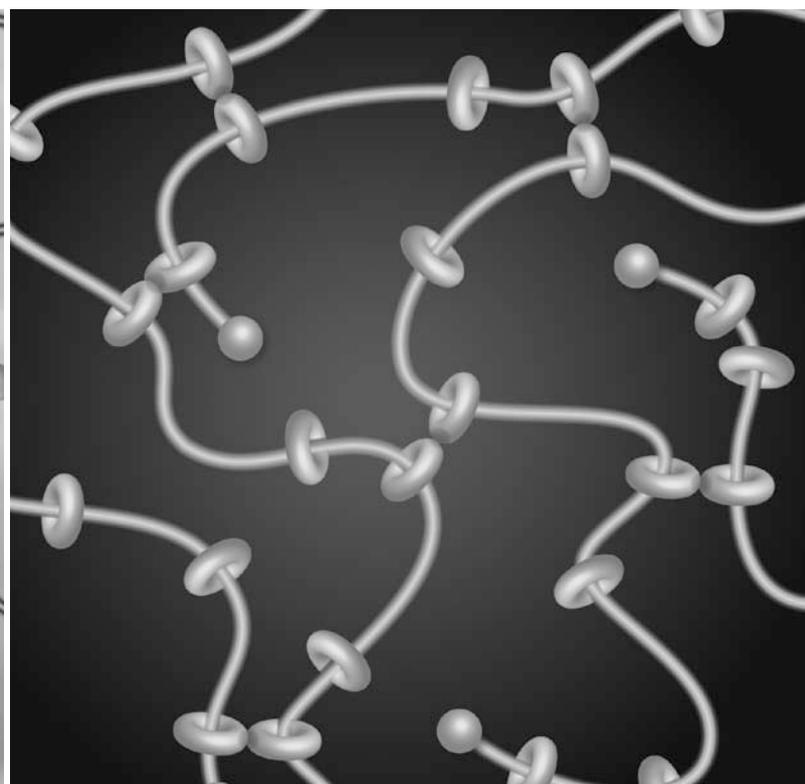
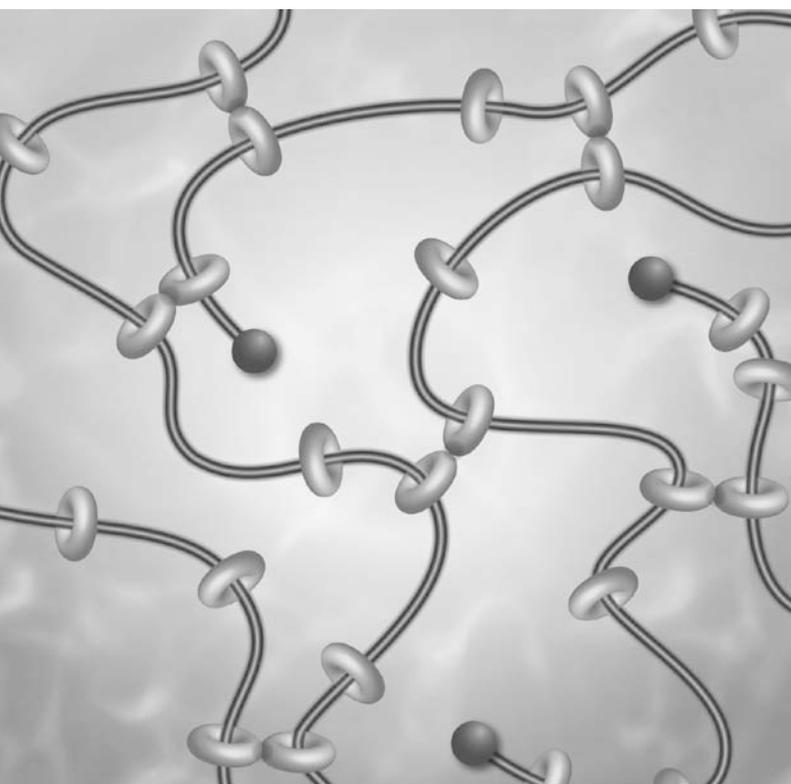


別冊 INVITATION

大学院入試案内



日本化学会
<http://www.csj.jp>

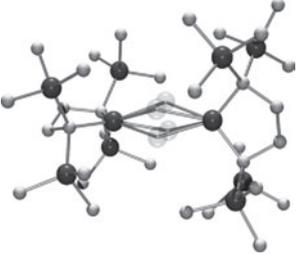
目次

大学院名称	ホームページ	頁
北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻	http://www.ees.hokudai.ac.jp/division/material/index.html	1
東北大学大学院理学研究科化学専攻	http://www.chem.tohoku.ac.jp/	2
東北大学大学院生命科学研究所	http://www.lifesci.tohoku.ac.jp/	3
筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻	http://www.pas.tsukuba.ac.jp/	4
千葉大学大学院医学薬学府	http://www.p.chiba-u.ac.jp/	5
お茶の水女子大学大学院理学専攻	http://www.ocha.ac.jp/	6
首都大学東京大学院理工学研究科分子物質化学専攻	http://www.se.tmu.ac.jp/chem/	7
電気通信大学大学院情報理工学研究科先進理工学専攻	http://www.uec.ac.jp/department/ie_graduate/s/	8
東京大学大学院理学系研究科化学専攻	http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/	9
東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻	http://www.appchem.t.u-tokyo.ac.jp/	10
東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻	http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/	11
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻	http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/	12
東京工業大学大学院総合理工学研究科化学環境学専攻	http://www.chemenv.titech.ac.jp/index.html	13
東京工業大学大学院生命理工学研究科	http://www.bio.titech.ac.jp/out/out_others/examtest-info.html	14
東京工芸大学大学院工学研究科工業化学専攻	http://www.t-kougei.ac.jp/graduate/engineering/chem/	16
東京農工大学大学院工学府応用化学専攻	http://www.tuat.ac.jp/	17
東京理科大学大学院総合化学研究科	http://www.tus.ac.jp/fac_grad/grad/sk/	18
慶應義塾大学大学院薬学研究科	http://www.pha.keio.ac.jp/	19
日本大学大学院理工学研究科物質応用化学専攻	http://www.cst.nihon-u.ac.jp/graduate_school/course/chem/index.html	20
早稲田大学理工学術院先進理工学研究科	http://www.sci.waseda.ac.jp/visitor/applicants/index06.html	21
神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻	http://kait.jp/ug_gr/	22
神奈川大学大学院理学研究科化学専攻	http://www.kanagawa-u.ac.jp/education/graduateschool/sciences/aim/	23
総合研究大学院大学物理科学研究科構造分子科学・機能分子科学専攻	http://www.ims.ac.jp/indexj.html	24
横浜国立大学大学院工学府機能発現工学専攻先端物質化学コース	http://gakufu.eng.ynu.ac.jp/	25
新潟大学大学院自然科学研究科	http://www.gs.niigata-u.ac.jp/	26
富山大学大学院理工学教育部(理学領域)	http://www.sci.u-toyama.ac.jp/daigakuin/index.html	27
北陸先端科学技術大学院大学	http://www.jaist.ac.jp/gakusei/index.html	28
岐阜大学大学院工学研究科応用化学専攻	http://www.gifu-u.ac.jp/eng/	29
豊橋技術科学大学大学院工学研究科環境・生命工学専攻	http://ens.tut.ac.jp/	30
名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻応用化学分野	http://www.apchem.nagoya-u.ac.jp/	31
三重大学大学院工学研究科分子素材工学専攻	http://www.chem.mie-u.ac.jp/	32
三重大学大学院生物資源学研究科	http://www.bio.mie-u.ac.jp/	33
京都大学大学院工学研究科化学系6専攻	http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/grad/	34
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻	http://www.biobased.kit.ac.jp/	35
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科物質工学専攻	http://www.chem.kit.ac.jp/	36
大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻	http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/mms/index.html	37
大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻	http://www.c.s.osakafu-u.ac.jp/	38
神戸大学大学院理学研究科化学専攻	http://www.chem.sci.kobe-u.ac.jp/index.html	39
奈良先端科学技術大学院大学	http://www.naist.jp/index_j.html	40
和歌山大学大学院システム工学研究科システム工学専攻	http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/graduate/	41
徳島大学大学院先端技術科学教育部・総合科学教育部	http://www.tokushima-u.ac.jp/	42
広島大学大学院理学研究科化学専攻	http://home.hiroshima-u.ac.jp/chemsci/	43
九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群(応用化学)	http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~appchem/	44
九州大学大学院理学府化学専攻	http://www.scc.kyushu-u.ac.jp	45
熊本大学大学院自然科学研究科	http://www.gsst.kumamoto-u.ac.jp/	46

北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） ■博士課程（大学院修士課程を修了もしくは見込みであること）</p>
<p>■出願締切</p>	<p>■特別推薦入試（修士課程4月入学）：4月中旬より（予定） ■秋季入試（修士・博士課程4月・10月入学）：7月上旬（予定） ■秋季推薦入試：（修士課程4月入学）10月上旬（予定） ■春季入試（修士・博士課程4月入学）：1月中旬（予定） 入試時期により対象者が異なります。また締切日時は正式に決定次第、専攻ホームページに掲載されます。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【秋季入試（8月末）・春季入試（2月末）】（札幌会場） 1) 基礎化学選抜：外国語と専門科目（物理化学と有機化学）の筆記試験および面接によって判定 2) 自己推薦選抜：外国語の筆記試験とこれまでの研究に関する口述試験によって判定。1)、2)は併願可能 【特別推薦入試（5月末）・秋季推薦入試（10月末）】（札幌会場、東京会場） 口述試験。学業成績、推薦書、出願時に提出する小論文、と合わせて総合的に判定。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>近年、様々な環境問題が顕在化していますが、自然現象や自然の営み全ての根源には化学反応が関係していますので、問題の解明や解決には化学的な物質観や化学を基盤とした研究が不可欠です。北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻では環境問題を化学の側面からとらえ、環境に関わる物質の分布や作用を化学的観点から調べるとともに、環境浄化や環境保全のための新たな手法に関する最先端の研究教育を行っています。</p> <p>本専攻は、生体物質機能科学コース、ナノ環境材料コース、光電子科学コース、環境触媒化学コースからなっており、学生はいずれかのコースに所属します。生体物質機能科学コースでは、生体が作り出す物質などの化学的特性や機能を調べるとともに、生体システムを利用・模倣した環境の浄化法・修復材料および生体関連物質の高感度モニタリングシステムの開発を行っています。ナノ環境材料コースでは、汚染物質の環境での動態とその影響を調べるとともに、ナノテクノロジーを利用した新規機能材料の開発と、これらを用いた環境改善のための新規手法を研究しています。光電子科学コースでは、有機分子や分子集合体に基づく光材料や電子材料の構築と物性解明および機能開拓を通じて、環境科学への応用が可能なデバイス等の開発を行っています。環境触媒化学コースでは、地球環境修復のための新規界面表面機能の創製とその解明、また表面機能を利用した環境修復・保全のための触媒、および新エネルギーシステムについて研究しています。</p> <p>入学後は、授業やセミナーなどで環境問題に関する知識を深めるとともに、指導教員の研究室に所属して、修士論文や博士論文の作成のための研究を行います。授業や研究を通して環境問題の解明と解決のための化学的手法を習得します。また、最先端の科学技術を修得するための実習プログラムも用意しています。</p> <p>本専攻では化学を基盤として環境問題の解明や解決に関する教育や研究を行っていますので、化学を専門とする学生諸君の出願を特に歓迎しています。また、環境問題は多岐にわたる学際的研究が必要とされるので、これまで化学を専門としてこなかったとしても積極的に受け入れています。</p> <p>本専攻が所属する北海道大学環境科学院および北海道大学農学院環境資源学専攻は、グローバルCOEプログラム「統合フィールド環境科学の教育研究拠点形成」の拠点として、地球環境の問題に科学・技術・行政・教育、そして企業活動において、多方面から取り組むことのできる環境リーダーの育成に力を入れています。この拠点形成の特徴を生かして、博士課程学生の生活支援を充実させ、勉学と研究に打ち込める環境を整えています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>5月下旬に札幌、東京、大阪で開催を予定しています。決定次第、専攻ホームページに掲載します。また、随時、下記にお問い合わせ下さい。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目 北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻事務室 電話 011-706-2231 E-mail: sfmc_office@ees.hokudai.ac.jp http://www.ees.hokudai.ac.jp/division/material/index.html</p>

東北大学大学院理学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>◆平成24・25年度入学 大学院入試◆ 【博士課程前期2年の課程】 一般選抜、自己推薦入試、外国人留学生特別選考 【博士課程後期3年の課程】 一般選抜、社会人特別選考、外国人留学生特別選考</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>出願期間：平成24年7月中旬（H24年10月、H25年4月入学） 平成25年1月初旬（H25年4月入学） 日程などの詳細情報はこちら→化学教室HP（http://www.chem.tohoku.ac.jp） 募集要項はこちら→大学院理学研究科・理学部HP（http://www.sci.tohoku.ac.jp） ※学生募集要項（6月・11月発表）をお取り寄せの上ご確認下さい。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆博士課程前期2年の課程 【自己推薦入試】 外部受験生向けの面接重視の試験 【一般選抜】 筆記試験（英語・化学）および面接試験 ◆博士課程後期3年の課程 研究概要の口頭発表および面接試験</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>	<p>—2011年、化学教室は開講100周年を迎えました— <化学研究の世界的な一大拠点> 化学科・化学専攻は5つの基幹講座（無機・分析化学講座、有機化学講座、物理化学講座、境界領域化学講座、先端理化学講座）に組織される17の研究室と学内の多元物質科学研究所・金属材料研究所・原子分子材料高等研究機構・高等教育開発推進センターに所属する13の研究室、そして学外の連携・委嘱分野を併せ全32研究室から構成されています。協力講座を含め約90名もの教員が指導にあたります。その研究内容は、生物化学、天然物化学、有機合成化学、有機金属化学、金属錯体化学、超分子化学、ナノ・バイオ分析化学、レーザー分光化学、計算化学などを含み、化学の主要分野を網羅しています。これらの研究室が、学部付属の巨大分子解析センターなどの協力を得て化学研究の世界的な一大拠点を形成しています。</p> <p><特徴ある研究教育プログラム、そしてグローバル化へ向けて> 当専攻では21世紀COEプログラム「大分子複雑系未踏化学」（2002年～2006年）、さらにそれを引き継いだグローバルCOEプログラム「分子系高次構造体化学国際研究拠点」（2007年～2011年）が推進されてきました。特に前者では理学研究科と工学研究科の連携、後者ではさらに薬学・農学研究科などとも連携することによって、我が国最大規模のオール化学分野の協力による大学院教育・研究体制が確立されつつあります。また、大学のグローバル化に向けた取組も進んでいます。学部教育では、大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業（グローバル30）として、海外からの留学生を対象とした国際学士コースの一つである「先端物質科学コース」が化学科に設けられ、2011年秋に第一期生が入学しました。その全ての講義は英語で行われます。</p> <p>また、理学研究科の大学院英語コース「先端理学学際コース（IGPAS）」も10年近く前から進められています。これらに加えて、大学の世界展開力強化事業（日中韓のトライアングル交流事業・キャンパスアジアプログラム）「持続的社会に貢献する化学・材料分野のアジア先端協働教育拠点の形成」が2011年末に採択され、東北大学のオール化学分野と日中韓五大学との間の教育・研究相互交流が進められる予定です。</p> <p>化学専攻はますます国際化を進め、世界的に活躍する人材を輩出する世界トップの化学研究拠点としてさらなる飛躍を目指します。</p> <p><研究環境> 学内の研究室は、仙台市中心部に近い青葉山キャンパスと片平キャンパスにあります。杜の都・仙台の地で、最先端の設備を使い、充実した研究生生活を送ることができます。近年では、卒業後の就職に向けて、就職説明会や卒業生による会社説明会の開催など就職支援にも力を入れています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>◆理学研究科合同入試説明会：平成24年5月12日（土）開催予定（東京） 会場：東北大学東京分室（サピアタワー10階、JR東京駅直結） ◆博士課程前期2年の課程自己推薦入試説明会：6月上旬開催予定（仙台） 会場：東北大学大学院理学研究科 化学棟（研究室見学含む） 詳細は化学教室HP（http://www.chem.tohoku.ac.jp）をご覧ください。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号 東北大学大学院理学研究科 化学専攻事務室 TEL：022-795-3492／ E-mail：chem-jm@bureau.tohoku.ac.jp</p>

東北大学大学院生命科学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>◆平成24・25年度入学者 大学院入試◆ 【博士課程前期2年の課程】 自己推薦 Ⅰ期・Ⅱ期（一般選抜、社会人・帰国学生及び外国人留学生特別選抜） 【博士課程後期3年の課程】 一般選抜、社会人・外国人留学生特別選抜</p>
<p>■出願期間</p>	<p>【博士課程前期2年の課程】 【自己推薦】 平成24年 6月11日（月）～6月22日（金） 【Ⅰ期試験】 平成24年 6月18日（月）～7月20日（金）（24年10月、25年4月入学） 【Ⅱ期試験】 平成24年10月15日（月）～11月2日（金）（25年4月入学） ※詳細は学生募集要項（4月発行予定）をお取り寄せのうえ、ご確認願います。 【博士課程後期3年の課程】 【平成24年10月入学】 平成24年 6月11日（月）～6月22日（金） 【平成25年4月入学】 平成25年 1月4日（金）～1月18日（金） ※詳細は学生募集要項（H24年10月入学：4月発行予定、H25年4月入学：11月発行予定）をお取り寄せのうえ、ご確認願います。 東北大学大学院生命科学研究科HP (http://www.lifesci.tohoku.ac.jp)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆博士課程前期2年の課程 【自己推薦】 7月7日（土） これまでの学業成績・出願書類等の審査、筆記 [英語 (TOEFL-ITP)] 【Ⅰ期試験】 8月2日（木） 出願書類審査のほかに 一般選抜…筆記試験 [英語 (TOEFL-ITP)・専門科目 (選択)] 社会人特別選抜…筆記試験 [英語 (TOEFL-ITP)]、口頭試問 帰国学生及び外国人留学生特別選抜…小論文、口頭試問 【Ⅱ期試験】 11月19日（月）、20日（火） 出願書類審査のほかに 一般選抜…筆記試験 [英語 (TOEFL-ITP)]、口頭試問 社会人特別選抜…筆記試験 [英語 (TOEFL-ITP)]、口頭試問 帰国学生及び外国人留学生特別選抜…小論文、口頭試問</p> <p>◆博士課程後期3年の課程 H24年10月入学：平成24年 7月9日（月） 面接試験（外国語能力を含む） H25年4月入学：平成25年 2月18日（月） 面接試験（外国語能力を含む）</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>◆生命科学研究科は、「高次生命システムの解明と維持・保全」を理念・目標とし、平成13年に設立されました。生命現象の分子レベルでの理解から、生物の個体、集団レベルにおける問題解決までを幅広く取り扱います。化学系学部で学んだ多くの先輩が現在活躍しています。医療や環境問題など社会との関連を意識した研究も盛んです。</p> <p>◆平成25年4月入学から、新たに『自己推薦入試』を実施します。本推薦入試では、「他の大学等を卒業された学生」を本研究科に積極的に受け入れ、学生の流動性を促進することにより、大学院教育の活性化を図ることを目指しています。</p> <p>◆8月に行なわれる第Ⅰ期入学試験は外国語 (TOEFL-ITP) と専門科目1科目 (たとえば有機化学) で受験できます。また、入学直後に共通科目を開講し、化学など他分野からの進学者も早期に生命科学を概観できるようカリキュラムが工夫されています。</p> <p>◆国内外の第一線研究者による生命科学特別講義や、学生の興味によって選択できる多彩な講義科目が用意されています。なお、化学に立脚した科目 (生命構造化学特論など) も開講されています。</p>
<p>■大学入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試説明会： 【仙台会場】 平成24年4月21日（土）10時～13時 東北大学片平キャンパス生命科学プロジェクト総合研究棟1F ※オープンラボ（研究室での研究内容紹介） 平成24年4月21日（土）14時～18時、平成24年4月22日（日）10時～18時 【東京会場】 平成24年5月12日（土）実施予定 ※詳細は東北大学生命科学研究科HP (http://www.lifesci.tohoku.ac.jp) をご覧下さい。</p>
<p>■問い合わせ先</p>	<p>〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学生命科学研究科教務係 電話：022-217-5706 E-mail: lif-kyom@bureau.tohoku.ac.jp</p>



筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻博士前期課程および博士後期課程（およびナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻ナノサイエンス分野 博士後期課程のみ） 平成25年度大学院学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■博士前期課程 推薦入学試験（7月期） 平成24年6月14日（木）～15日（金） 一般入学試験（8月期） 平成24年7月17日（火）～19日（木） 社会人入学試験（8月期） 平成24年7月17日（火）～19日（木） ■博士後期課程 一般入学試験（8月期） 平成24年7月17日（火）～19日（木） 社会人入学試験（8月期） 平成24年7月17日（火）～19日（木）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■博士前期課程 推薦入学試験（7月期）平成24年7月5日（木） 筆記試験（小論文）：100点・口述試験（面接）：100点 一般入学試験（8月期）平成24年8月21日（火）～22日（水） 外国語（英語）：200点・専門科目（化学）：500点・口述試験（個別面接）：250点 社会人入学試験（8月期）平成24年8月21日（火）～22日（水） 外国語（英語）：200点・専門科目（化学）：500点・口述試験（個別面接）：250点 第2次学生募集（2月期）を行う場合は、平成24年11月下旬に募集要項を発表します。 ■博士後期課程 一般入学試験（8月期） 平成24年8月23日（木） 口述試験（個別面接）：200点 社会人入学試験（8月期）平成24年8月23日（木） 口述試験（個別面接）：200点 第2次学生募集（2月期）を行う場合は、平成24年11月下旬に募集要項を発表します。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>化学専攻では、伝統的な物理化学、無機化学、有機化学などの理学の基礎を構成する分野のほか、物理学、生物学、地球科学、薬学、工学などとの境界領域化学の研究も盛んに行っています。また、数多くの研究機関を有するつくば地区の利点を活かし、<u>独立行政法人産業技術総合研究所との連携大学院制度</u>を活用した新領域の研究も活発に行っています。また、<u>独立行政法人物質・材料研究機構との連携大学院制度</u>により、材料化学分野の研究も推進しています。</p> <p>カリキュラムは、区分制博士課程の特徴を活かしてそれぞれの特性に合わせ、実施と評価を数段階に渡って懇切丁寧に行う、きめ細かな授業編成となっています。基礎科目と専門科目で化学の基礎と専門を幅広く修得し、優れた教員の指導のもとに高度で最先端の研究を行います。これにより、前期課程では修士号を、後期課程では博士号を、無理なく取得する体制ができています。また、本研究科のナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（後期課程のみ）ナノサイエンス分野でも化学関連の研究が精力的に行われています。</p> <p>化学専攻の過去の入学試験問題を配布しています。化学専攻事務室（TEL 029-853-6505）にお問い合わせください。</p> <p>また、本研究科では博士後期課程において、「<u>早期修了プログラム</u>」を実施しています。このプログラムは「一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年で修了し、課程博士号を取得するプログラム」です。</p> <p>下記にて説明会を開催しますので、奮ってご参加ください。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>■学生募集説明会（オープンキャンパス） 平成24年5月12日（土）筑波大学第一エリア ■社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」説明会 毎年、7月上旬と11月下旬に、つくばキャンパス（春日地区）と東京キャンパス（秋葉原地区）で、説明会を開催しています。平成24年度開催の説明会日程は追って発表しますので、下記までお問い合わせください。 早期修了プログラムに関する問合せ先：学務部教育企画課教務担当（TEL 029-853-2226）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学学務部教育企画課大学院入試担当 TEL 029-853-2230、2231 あるいは 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻長 関口 章 TEL 029-853-4314 sekiguch@chem.tsukuba.ac.jp</p>

千葉大学大学院医学薬学府

<p>■募集学生</p>	<p>千葉大学大学院医学薬学府（薬学領域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程学生募集 平成24年10月入学および平成25年4月入学 ◆博士課程学生募集 平成24年10月入学、平成25年4月入学および平成25年10月入学
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程 現在未定、本年6月に発表します。 ◆博士課程（2回実施） 第1回目 平成24年8月中旬頃（本年6月に発表します。） 第2回目 平成25年1月上旬頃（本年6月に発表します。）
<p>■試験内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程：筆記試験および面接試験による選抜（平成24年10月入学にも適用） 試験日：平成24年8月の予定（現在未定、本年6月に発表します。） <ul style="list-style-type: none"> ●筆記試験：400点 英語：200点（150点は当日試験、50点はTOEICまたはTOEIC-IPで換算） 基礎科目：200点 有機化学3問、生物化学3問、物理化学3問、医療薬学1問の計10問から4問選択 ●面接試験：100点（筆記試験の翌日に実施） ◆博士課程：筆記試験（英語）および面接試験による選抜（2回実施） 試験日：第1回目 平成24年8月下旬（平成24年10月および平成25年4月入学） 第2回目 平成25年1月下旬（平成25年4月および平成25年10月入学） （試験内容等詳細は学生募集要項をご覧ください。）
<p>■インフォメーション</p>  <p>医薬系総合研究棟（千葉市文鼻地区） I期棟（奥）、II期棟（手前）</p>	<p>当医学薬学府（薬学領域）では他大学・他分野からの学生を広く募集しています。本学府（薬学領域）は有機化学系、生物化学系、物理化学系、医療系の薬学を構成する広い研究分野に属する21の研究室（●遺伝子資源応用 ●薬品物理化学 ●分子細胞生物学 ●薬効薬理学 ●高齢者薬剤学 ●分子心血管薬理学 ●生物薬剤学 ●病院薬学 ●臨床教育 ●実務薬学 ●生化学 ●薬物学 ●薬化学 ●薬品合成化学 ●病態分析化学 ●製剤工学 ●微生物薬品化学 ●薬品製造学 ●生体機能性分子 ●分子画像薬品学 ●活性構造化学）および連携大学院2研究室（●環境リスク ●遺伝子創薬学）を有し、薬学に関連する最先端の研究・教育を行っています。この多彩な専門分野の中に自然科学系大学院を志望する皆さんの希望と一致する分野が必ずあります。（研究内容等詳細はそれぞれの研究室のホームページをご覧ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程：4年制薬学部学生はもちろんのこと、理学部、工学部、農学部等で受けた基礎教育を薬学研究へ発展させる意欲のある学生を求めています。そのため筆記試験は英語と基礎分野（有機化学、物理化学、生物化学、医療薬学から選択）とし、専門分野からの出題をなくしました。薬学部6年制学科の4年生は修士課程への出願が可能です。 ◆博士課程：創薬研究に興味のある薬学、理学、工学、農学等の修士課程修了者もしくは修了予定者を求めています。 （3年制課程と4年制課程があります。詳細は学生募集要項をご覧ください。）
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成24年6月から7月頃に実施します。詳細は千葉大学薬学部のホームページをご覧ください。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学薬学部学務係：Tel 043-226-2941 E-mail: kae2979@office.chiba-u.jp 千葉大学薬学部ホームページ：http://www.p.chiba-u.ac.jp</p>

お茶の水女子大学大学院

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年度（平成24年度10月入学生含む）</p> <p>■お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻 化学・生物化学コース 修士（博士前期）課程大学院生募集 （外国人留学生特別選抜を含む）</p> <p>■お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻 化学・生物化学領域 博士後期課程大学院生募集 （外国人留学生特別選抜を含む）</p>
<p>■願書受理期間（予定）</p>	<p>■修士（博士前期）課程 8月入試 平成24年 7月17日（火） - 19日（木） 2月入試 平成24年12月19日（水） - 27日（木）</p> <p>■博士後期課程 9月入試 平成24年 8月 1日（水） - 3日（金） 3月入試 平成25年 1月15日（火） - 18日（金）</p>
<p>■試験日程および科目（予定）</p>	<p>■修士（博士前期）課程 8月入試 平成24年 8月23日（木） 9:00-（専門科目、英語） 平成24年 8月24日（金）10:00-（口頭試問） 2月入試 平成25年 1月31日（木） 9:00-（専門科目、英語、口頭試問）</p> <p>■博士後期課程 9月入試 平成24年 9月6日（木） - 7日（金）（口頭試問） 3月入試 平成25年 3月5日（火） - 7日（木）（口頭試問）</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>お茶の水女子大学 Ochanomizu University</p>  <p>女子大生の誇りは、明治の初め お茶の水女子大学の前身、東京女子師範学校のころに起源があり、 大正時代にブームになりました。 いつの時代でも、ハイカラさんは時代の先端を走っていました。</p>  <p>21世紀のハイカラさんは、あなたです。</p>	<p>■研究教育内容 理学専攻化学・生物化学コース（修士課程）および化学・生物化学領域（博士後期課程）では、多岐に渡る物質を構成する分子、生体分子及び分子集合体を対象とし、構造と性質、合成と反応、機能と現象に関して、基礎に重点を置きつつ幅広い角度から教育研究を行っています。本コースおよび領域は12研究室で構成され、物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学分野を基礎とする物質科学、物質創成科学、超分子化学、複雑系科学、材料科学、ならびに生命科学などの諸分野に広がる教育研究を通して、幅広い知識と専門性を備えた研究者の育成を目指しています。</p> <p>■他大学との連携 都心にある地の利を生かし、他大学との連携を積極的に行っています。東京医科大学、学習院大学、北里大学との四大学連携により「学際生命科学」をキーワードとした「化学」の周辺分野まで幅広く学ぶことができます。また、複数大学との単位互換制度により他大学の授業科目を履修することもできます。</p> <p>■研究環境 大型機器などの研究設備は全学共同利用を基本に整備が進められ、化学分野の研究に必要な様々な最新機器を自由に利用できます。実験台には局所排気装置を完備し、実験環境に配慮しています。</p> <p>■留学支援プログラム 理学専攻学生を対象に、海外派遣事業を実施しています。研修留学は主として博士前期課程学生対象で、ドイツの協定校で1セメスターの専門科目講義（英語）を受講します（取得単位認定）。研究留学は主に博士後期課程学生対象で、その多くが1年間留学します。この4年間に、45名を研修留学に、18名を研究留学に派遣しました。</p> <p>■早期修了制度と長期履修制度 成績優秀者には早期修了制度が、また、特別な理由のある学生に対しては事前に申し出ること、長期にわたる計画的履修を認め授業料を分割する制度があります。</p>
<p>■大学院オープンキャンパスの開催</p>	<p>平成24年4月21日（土）に大学構内にて大学院オープンキャンパスを開催します。研究室見学も可能です。（詳細は下記URLに確定次第掲載）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>■お茶の水女子大学事務部教育支援・教務チーム大学院担当 〒112-8610東京都文京区大塚 2-1-1 電話（03）5978-5822（前期課程）、5821（後期課程） http://www.ocha.ac.jp/</p>

公立大学（東京都） **首都大学東京 大学院**

<p>■募集学生</p>	<p>首都大学東京 大学院 理工学研究科 分子物質化学専攻 平成24年度大学院、博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程） 募集人数：博士前期課程32名、博士後期課程10名</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>○博士前期課程（修士課程） 1回目 平成24年8月3日（金）～8月9日（木）〔夏季試験〕 2回目 平成25年1月15日（火）～1月21日（月）〔冬季試験〕 *出願期間は郵送（消印有効）のみです。直接出願は認めません。社会人、外国人 特別学生（留学生）の場合には、それぞれの事前協議、出願相談が必要です。 ○博士後期課程（博士課程） 〔平成24年度10月入学：社会人・外国人のみ〕 平成24年8月3日（金）～8月9日（木）（郵送のみ・消印有効） 〔平成25年度4月入学〕 平成25年1月4日（金）～1月10日（木）（郵送・消印有効） 平成25年1月11日（金）に持参可能 *社会人、留学生の場合には、それぞれの事前協議、出願相談が必要です。 *募集要項は6月11日（月）及び10月9日（火）から配布します。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>○博士前期課程（修士課程） 〔夏季試験〕 9月4日（火）◎筆記試験（化学・英語） 9月5日（水）◎口述試験 〔冬季試験〕 2月12日（火）◎筆記試験（化学・英語） 2月13日（水）◎口述試験 ○博士後期課程（博士課程） 〔平成24年度10月入学〕 9月3日（月）◎口述試験のみ 〔平成25年度4月入学〕 2月5日（火）◎口述試験のみ</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>理工学研究科の全景</p>	<p>当専攻は都心からほどよい距離にある緑豊かな南大沢キャンパスに位置します。修士課程の定員32名に対して、専任の教授・准教授・助教は32名（非常勤・特任・客員教官は人数に含みません）という真の少人数教育を実践しています。当専攻では他大学、他分野、及び社会人からの学生を広く募集します。</p> <p>【研究分野・研究室】 無機・分析化学、有機化学・生物化学、物理化学など化学分野を均等にカバーしており、幅広い社会ニーズや学生の興味に対応することが可能です。</p> <p>無機化学：錯体合成化学、ナノサイエンス、スピニング化学 環境・地球化学：環境化学、分析化学、時間分解分光法 宇宙化学：地球外物質中の元素・同位体組成に関する研究 同位体化学：放射化学的手法を用いた機能性材料の解析 有機化学：高性能分子触媒による高効率合成法、新機能π電子系 有機合成化学：新規な高周期典型元素化合物の合成と有機合成への応用 生物化学：プロテオーム解析、蛋白質機能に関する研究 有機構造生物化学：生体高分子のNMR観測の方法論、蛋白質の高次構造 物性物理化学：分子性超伝導体、分子磁性物質 分子集合系物理化学：両親媒性分子集合体の実験、ソフトマターの理論 反応物理化学：気相反応ダイナミクス炭素クラスターの科学 理論・計算化学：励起状態理論、相対論的量子化学、化学反応の理論解析</p> <p>【入試情報】 博士前期課程（修士課程）の〔夏季試験〕では、化学専門試験として、例年、無機・分析化学、物理化学、有機化学、生物化学の4分野から各2問、合計8問が出題されており、受験生はそのうち5問を選択して解答します。英語は2問です。〔冬季試験〕も問題数が少ないですが同様の方針で出題されます。過去の試験問題は当専攻のウェブサイトに掲載されています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成24年度「理工学研究科大学院説明会」6月頃開催予定 また、理工毎月説明会を第一土曜日に開催していますので、理工学研究科のウェブサイトでご確認下さい。http://www.se.tmu.ac.jp/</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京 大学院 理工学研究科 分子物質化学専攻 事務室 TEL 042-677-3410、FAX 042-677-2525、URL http://www.se.tmu.ac.jp/chem/ 専攻長：伊藤隆（042-677-2545）、広報委員：杉浦健一（042-677-2550） 大学院入学志願者選考委員：野村琴広（042-677-2547）</p>

電気通信大学 大学院

■募集学生

電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 先進理工学専攻 生体機能システムコース
平成24年度大学院博士前期課程学生募集（博士後期課程も募集しています）

■出願期間（予定）

平成24年8月 欠員の生じたときのみ2次募集 平成25年2月

■試験内容（予定）

8月 筆記試験、面接試験 専門科目：600点、外国語（TOEICまたはTOEFL）：150点
9月 合格発表

■コース紹介

図1 生体機能システムコースの紹介

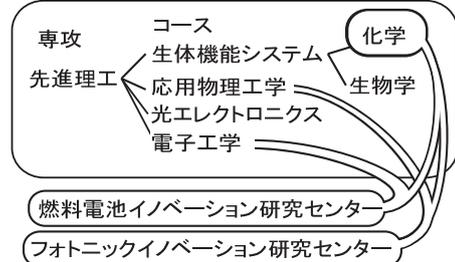


図2 ナノサイズ磁石（石田尚行研究室）

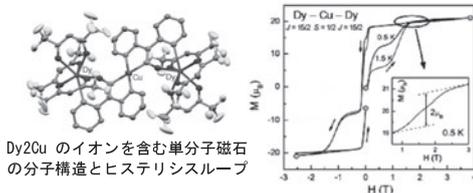


図3 生物発光の化学（平野誉研究室）

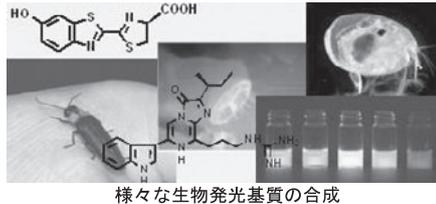


図4 筋肉細胞の分子動態（狩野豊研究室）

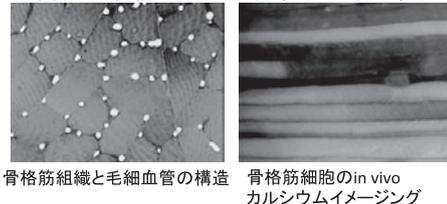
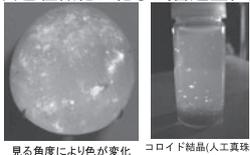


図5 ナノ物質の化学（山北佳宏研究室）



図6 自己組織化の化学（曾越宣仁研究室）



本専攻の幅広い研究・教育

電気通信大学には広く学問・研究をする環境が整っています。本専攻では図1に示すように、一般的な化学分野にとどまらず、**生命、電子工学、光学などと密接に結びついた研究**が行われています。もちろん化学と、IT、情報通信、機械工学が結びついた研究も行われています。また、電気通信大学の特徴として、それぞれの専攻は決して閉じてはなりません。学内の研究室間の自由な出入りや様々な講義の受講を通して、**自分の力で新しい工学を作り出す気風**にあふれています。

本学の卒業生の中で、プレイステーションを開発した久夛良木氏やカーボンナノチューブの研究で知られる飯島氏の名前をご存知の方も多いでしょう。最近では、コンピューター将棋の開発メンバーも電気通信大学で研究しており、また本学が製作した人工衛星を打ち上げることに成功しています。これらは、電気通信大学が**世界レベルの研究に取り組んでいる**ことを示しています。

本コースの理念・内容

生体機能システムコースでは、**材料化学と生命科学が融合**した学問領域の研究・教育を行っています(図1)。現在、**有機化学、無機化学、物理化学**を含む化学専門の**13人のスタッフ**が活動し、本専攻の他コースも含めると約35人の研究者が材料開発に携わっています。また電気通信大学には**燃料電池やフォトニック材料**など大きな目標を掲げた数多くの研究センターも活動しています。情報と通信を主とする電気通信大学の他の専攻にも多くの研究者が材料・化学に関わっており、これらの研究室から数多くの材料開発を目指す人材が社会に送り出してきました。

研究例

化学関連の研究室をいくつか紹介しましょう。

石田研究室では軽く高機能な磁石の創成に取り組んでいます(図2)。有機分子と金属イオンから磁石を作る、しかも**1個の分子で磁石**になる。**単分子磁石**が実用化されれば、高密度情報記録が可能になるでしょう。

平野研究室では**ホタルやウミホタルに学ぶ光機能材料開発**に取り組んでいます(図3)。ホタルの仲間がいろんな色で効率良く光っているのをご存知ですか？ホタルはルシフェリンと呼ばれる基質の酵素反応を使って光を生み出しています。しかし、反応の仕組みはいまだ謎だらけです。平野研究室では、反応の仕組みの謎に挑戦して、望みの色で効率良く光る材料の開発に活かそうとしています。

狩野研究室では、筋肉細胞のタンパク1分子レベルの動態を研究しています(図4)。筋肉細胞は多核細胞で、神経細胞と連携して運動機能を発揮します。狩野研究室では、運動で受けた筋肉のダメージとその回復の仕組みを調べるために、**バイオイメージング技術**を駆使して生きた細胞内外での物質動態を直接観察し、筋肉の運動機能調整に関する**生命メカニズム**に迫っています。

山北研究室では分子ビームや最先端レーザーを駆使して孤立した分子系の性質や、化学構造と反応性の関係性を探求しています(図5)。分子の理解が進めば機能性分子の創製や生命の分子論的理解の大きな進歩が期待されます。

曾越研究室では、**自己組織化、非線形、協同現象**という化学の視点から、生命の謎に挑んでいます(図6)。生命はなぜその姿や形、行動、思考を維持できるのでしょうか？この謎のキーとなる非線形現象や自己組織化を積極的に応用して、フォトニック材料合成について理論および実験的に研究しています。

他にも、高周期の元素を含む**有機金属化学**、触媒機能を発現する**錯体科学**、複雑な分子の構造を解明する**分子構造化学**、**超高速光物理化学**、**超音波化学**などを研究しています。

最先端の材料技術者・研究者を目指す人を歓迎します

以上のように電気通信大学では、情報や通信技術に必要不可欠で、かつ基礎となる**材料化学分野でも活発な研究**が行われているのがお分かり頂けるでしょうか。化学を得意とし、加えて生命、光学、通信、機械、電気にも通じた、一級の技術者・研究者を目指すならば、電気通信大学大学院の先進理工学専攻生体機能システムコースは大変おすすめです。ぜひ興味を持っていただければ幸いです。電気通信大学は京王線調布駅から**徒歩5分**に位置し、都心や多摩地域からのアクセスが抜群です。オープンキャンパスなどの機会に、ぜひ一度訪れてみてください。幅広く奥深い化学の研究に共に励みませんか。

■大学院入試ガイダンスの開催

6月6日(水) 大学院オープンキャンパス(全学大学院入試説明会および研究室公開)

■問合せ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 先進理工学専攻 生体機能システムコース
大学院入学試験担当 TEL 042-443-5490 (石田) FAX 042-443-5501
http://www.uec.ac.jp/department/ie_graduate/s/
上記の日時等は予定です。大学のホームページなどでお知らせします。

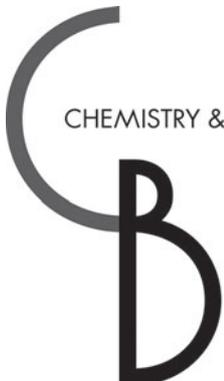
東京大学大学院理学系研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院理学系研究科化学専攻 修士・博士課程学生募集 平成25年4月入学および平成24年10月入学</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成24年7月5日(木)～7月11日(水)(修士・博士課程4月・10月入学共通)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【修士課程(4・10月入学共通)】 筆記試験：平成24年8月28日(火) 外国語、専門科目、小論文</p> <p>口述試験：平成24年9月5日(水) 合格発表：平成24年9月19日(水) *博士課程の試験日程等に関しては専攻HPを確認すること。</p>
<p>■インフォメーション</p>    <p>東京大学 大学院 理学系研究科・理学部 SCHOOL OF SCIENCE, THE UNIVERSITY OF TOKYO</p>  <p>東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO</p>	<p>東京大学大学院理学系研究科化学専攻では、12の基幹研究室(構造化学、物性化学、量子化学、化学反応学、生物有機化学、有機合成化学、天然物化学、物理有機化学、固体化学、分析化学、無機化学、生物無機化学)および、社会連携講座、スペクトル化学研究センター、超高速強光子場科学研究センター、地殻化学実験施設、物性研究所、総合文化研究科、大気海洋研究所、地震研究所、JAXA宇宙科学研究所などの化学関連領域の教員が研究と教育に参画しています。化学専攻がカバーする研究分野は極めて広く、化学を中核として、物理学や生物学などの他の自然科学分野との境界領域や、工学、医学、薬学、農学、環境科学などの領域につながる学際的な分野に及んでいます。本専攻では、将来、第一線の研究者として活躍するとともに、次世代の化学者の教育にあたることのできる指導者を育成することを教育の目標としています。そして、最先端領域の研究活動を通じ、新しい研究分野を開拓するとともに、従来の概念を超える自然感と物質感を創出することを研究の目標としています。私たちは、自然科学のあらゆる分野の基礎となる化学の最先端に立ち、新現象の発見や新物質の創製を通じて理学の発展に貢献することを目指しています。</p> <p>化学専攻は、100人余りの教員、約80人の博士課程学生、50人程の博士研究員から構成されています。最近5年間の実績を見ると、博士課程学生の7割以上、また国内外から集まる研究員の大多数が大学や公的研究機関に就職し、先端研究に従事するとともに、後進の育成に当たっています。また、平成23年度より、「フォトンサイエンス・リーディング大学院」Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS) を推進する中核専攻の一つとして、若手人材育成に取り組んでいます。化学専攻では、大学院学生や博士研究員の生活支援を充実させるとともに、国内外各地から学生を受け入れ、国際的な環境の下で学生が勉学と研究に打ち込める条件を整えています。そして、将来、国内外の教育・研究の分野において、指導的立場に立って活躍する人材の育成に力を入れています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回：5月12日(土) 13:00～18:00 第2回：6月2日(土) 13:00～18:00 於：東京大学 本郷キャンパス 理学部化学本館5階講堂 第1回と第2回は同じ内容です。入試ガイダンスについては、下記のホームページアドレスにて、随時最新情報を掲載します。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号 東京大学大学院理学系研究科 事務部大学院担当 電話03-5841-4023 専攻HP http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/</p>

東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻 修士課程 (25年4月入学、24年10月入学) 博士課程 (25年4月入学、24年10月入学) 最新情報はWebでご確認ください (http://www.appchem.t.u-tokyo.ac.jp/ またはhttp://www.t.u-tokyo.ac.jp/tpage/for_prep/index.html)。 詳細は、5月から配付される入試案内書をご覧ください。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成24年7月 [修士課程、博士課程 (A日程) : 予定] 平成24年11~12月 [博士課程 (B日程) : 予定]</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験 ・修士課程、博士課程(A日程) 平成24年8月27日(月) ~ 8月28日(火) [実施予定] 試験内容: 筆記試験(英語、一般学術、専門学術)、口述試験 ・博士課程(B日程) 平成25年2月 [実施予定]</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   <p style="margin-left: 10px;">東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO</p> </div>	<p>「21世紀は応用化学の時代」～物質を自在にデザインし、新しい機能を創出～</p> <p>応用化学専攻では、化学を基礎として環境・エネルギー・情報など多岐の分野にわたる基礎・応用研究を展開しています。高度に有能な研究者、技術者を養成するために、基礎学力の充実、高度な専門知識の獲得が可能なカリキュラムを設けており、さらに修士論文・博士論文研究で実践的な能力を養います。</p> <p>応用化学専攻の17研究室では、光に応答して機能を発現する材料の開発、新エネルギー開発、半導体製造の基盤技術開発となるナノテクノロジー、超伝導や様々な機能を有する材料の開発とその物性研究、分子1個の挙動を解明する分光化学、ナノスケール化学実験プロセスの開発、環境保全のための触媒化学研究、自己組織化による物質創成研究、次世代高分子材料の開発などの多分野にわたり、基礎から応用研究まで幅広く展開されています。</p> <p>また、応用化学専攻では多くの研究室が大型プロジェクトに参画しており、さらに国際共同研究も盛んであるなど、大学院の学生が世界の第一線で活躍する研究者に成長できる研究・教育の舞台を用意しています。博士課程学生の3割は学振特別研究員として月額20万円、残りのほぼ全員が何らかの形で給与を受けています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回 平成24年3月31日(土) 13:00~ 東京大学 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所 An棟 2F コンベンションホール 第2回 平成24年5月19日(土) 13:00~ TKP大阪梅田ビジネスセンター会議室 カンファレンスルーム 8A 第3回 平成24年5月26日(土) 13:00~ 東京大学 工学部5号館 1階 51号講義室 (本郷キャンパス)</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 化学・生命系事務室 電話 03-5841-7211、7361、7213</p>

東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>修士課程、博士課程とも：25年4月入学または24年10月入学。 出願資格は5月に配付する募集要項・入試案内書に掲載します。また、専攻webページ http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp で最新情報が確認できます。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成24年7月（予定）。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験による。 ・修士課程：平成24年8月27日（月）～8月28日（火）[予定] ・博士課程：平成24年8月27日（月）および8月29日（水）[予定] 試験内容（修士・博士とも）：筆記試験（英語（TOEFL）、専門科目（科学英語、化学基礎問題、化学生命工学専門問題からの選択））ならびに口述試験。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>CHEMISTRY & BIOTECH</p>  <p>東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO</p> </div>	<p>「化学」と「生命」を分子レベルで捉えて、それらを工学的センスで融合させ、21世紀の人類社会に貢献する世界トップレベルの科学技術の創成を目指す専攻です。東京大学で有機化学・高分子化学・機能分子化学・生命化学・分子細胞生物学・バイオテクノロジーを本格的かつ総合的に教育・研究している唯一の専攻でもあります。</p> <p>大学院の講義に「構造・反応・合成有機化学I-IV」、「高分子・機能材料化学I-IV」、「分子生物化学I-IV」を設けており、専門分野に関連した内容の理解を深めるとともに、異分野の講義も受講することにより化学・生命全般の幅広い基礎知識を習得できます。「有機金属化学」、「有機機能材料学特論」、「蛋白質工学特論」、「分子生物学特論」、「構造生命工学特論」など、尖鋭的に専門分野を学ぶための科目と併せて受講することにより、最先端研究に取り組むための知識基盤を身につけることができます。また、社会・経済・経営などの分野に対するグローバルな視野を涵養するための講義として、「化学・生命研究倫理」、「知財戦略」などを開講しています。一方で、化学と生命両方のバックグラウンドを持たない学生を考慮した、フォローアップ講義も用意されています。さらには、講義以外にも、国内外の第一線の研究者による講演会が随時開催され、新しいアイデアに遭遇するチャンスにも恵まれています。</p> <p>本専攻には16の研究室があり、有機化学、材料科学、分子生物学、そして細胞生物学の分野にわたるホットな研究が展開されています。例えば、分子機械を用いるドラッグデリバリー・ナノ医療の開拓、バイオミネラリゼーションを模倣した有機・無機ハイブリッド材料の開発、機能性超分子や有機材料・液晶の開発、機能性RNAを通じての生命現象の解明、がんの発症・脳形成メカニズムの解明、最新の生物学的知見に基づく細胞工学・蛋白質工学の推進、二酸化炭素を固定化して材料へと変換する高効率触媒の開発、ペプチドを用いる不斉有機触媒の開発、動的結合を利用した高分子材料の機能化、細胞を利用した糖鎖生産、人工核酸の分子設計と生命機能への応用などが挙げられます。</p> <p>是非一度、本専攻のホームページをお訪ねください。「研究理念」、「研究室紹介」、「大学院への進学」などのページと併せて、「新着情報」のページをご覧くださいと、イベント情報、新人スタッフ紹介、学生や教員の受賞記録などを通じて、リアルタイムに本専攻の活動を感じていただけるはずです。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回 平成24年4月7日（土）13：00～ 東京大学工学部5号館1F 51号講義室（本郷キャンパス） 第2回 平成24年6月2日（土）10：00～ 東京大学生産技術研究所 D棟6階 Dw-601号室（駒場IIキャンパス） 駒場IIキャンパスの公開と同時開催です。 第3回 平成24年6月9日（土）13：00～ 東京大学工学部5号館1F 51号講義室（本郷キャンパス）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 化学・生命系事務室 電話 03-5841-7211、7361、7213</p>

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 修士課程（平成25年4月入学、平成24年10月入学） 博士課程（平成25年4月入学、平成24年10月入学） 最新情報はWebでご確認ください（http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/）。 詳細は、5月から配付される入試案内書をご覧ください。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成24年7月2日（月）～10日（火）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験 ・修士課程、博士課程 平成24年8月27日（月）～8月28日（火）[実施予定] 試験内容：筆記試験（外国語（英語）、専門学術）、口述試験 なお、出願時にTOEFL（iBT、CBT、PBT）公式スコアを提出することにより外国語（英語）試験にかえることもできる。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">   <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">東京大学</p> <p>THE UNIVERSITY OF TOKYO</p> </div>	<p>化学とシステムの思考の融合～化学システム工学専攻</p> <p>化学システム工学専攻では、化学に対する広範な知識をベースに、環境問題・エネルギー問題・安全性の問題に正面からシステムチックにアプローチし、化学と社会との密接な関係を築く研究を行うことができます。</p> <p>化学システム工学専攻の特徴は、単に面白いからという理由で分子や物質を合成するのではなく、ある目的・機能を持った分子・物質、材料・デバイスを開発し、さらにそれをどのように応用すれば、社会的なニーズに応えることができるかを、常に念頭において研究を行っているという点です。そのため、企業からの共同研究の申し込みも多く、学生達も積極的に研究と向き合っています。</p> <p>化学システム工学専攻の研究室では、非常に基本的な原理を追究している研究から、社会における物質循環や安全性の問題に取り組んでいる研究まで、多岐にわたった研究に取り組んでいます。そしてどの研究室においても、現実の問題にどのように取り組み、解決していくかという明確な視点をもって研究を進めています。研究が社会的ニーズに応えることになるのです。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回 平成24年5月12日（土）13:00～ 東京大学 工学部5号館 1階 51号講義室（本郷キャンパス）</p> <p>第2回 平成24年6月23日（土） 11:00～12:30 ホテルグランピア大阪（予定） 15:00～16:30 からすま京都ホテル（予定）</p> <p>第3回 平成24年6月30日（土）13:00～ 東京大学 工学部5号館 1階 51号講義室（本郷キャンパス）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 常務委員 新井 充 教授 電話 03-5841-8659 e-mail admission@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp</p>

東京工業大学大学院 総合理工学研究科 化学環境学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年4月入学 あるいは 平成24年10月入学 修士課程・博士課程学生 化学環境学専攻では、化学を通じた環境問題解決に意欲のある学生を、他大学・他分野から広く募集しています。 以下の募集情報は修士課程学生募集に関するものです。博士課程（一般選考および社会人大学院プログラム選考）については、別途お問い合わせ下さい。</p>																																	
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>〈募集要項の公表・配布〉 平成24年5月10日（木）～ 〈出願期間〉 平成24年6月15日（金）～21日（木）</p>																																	
<p>■試験内容</p>	<p>A日程（平成24年7月26日（木））： 志願者の中から、書類選考によって対象者を選抜し、面接を中心とする試験によって合否を決定します。 B日程：A日程の対象にならなかった志願者から、筆答試験および口頭試問によって合格者を決定します。 ・筆答試験（外国語、専門科目：平成24年8月21日（火）・22日（水）） および口頭試問（平成24年8月27日（月））</p>																																	
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">化学を通じて 豊かな環境社会を実現する</p> </div>	<p>本専攻で学ぶ学生は幅広い分野を勉強しつつ、自分の専門をしっかりと身につけ、多くの課題を抱えた環境問題に取り組むこととなります。この考えは社会人になってからも重要であり、化学環境学専攻で身につけた知識・考え方は一生を通して役立つはずで。</p> <p>本専攻は、下記の通り幅広い分野の研究室で構成されています。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">教授</th> <th style="text-align: left;">准教授（講師）*</th> <th style="text-align: left;">研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吉田尚弘</td> <td>渡辺隆行</td> <td>地球化学・熱プラズマ化学</td> </tr> <tr> <td>馬場俊秀</td> <td>本倉 健*</td> <td>グリーンケミストリー・触媒化学</td> </tr> <tr> <td>小坂田耕太郎</td> <td>竹内大介</td> <td>合成化学・高分子合成</td> </tr> <tr> <td>岩本正和</td> <td>石谷暖郎*</td> <td>バイオマスリファイナリー・ナノ空間化学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>穴戸 厚</td> <td>高分子機能化学</td> </tr> <tr> <td>山口猛央</td> <td>田巻孝敬*</td> <td>燃料電池工学・バイオマテリアル工学</td> </tr> <tr> <td>山元公寿</td> <td>成毛治朗</td> <td>錯体高分子化学・無機合成化学</td> </tr> <tr> <td>久堀 徹</td> <td></td> <td>植物生化学・タンパク質化学</td> </tr> <tr> <td>穂田宗隆</td> <td>吉沢道人</td> <td>有機金属化学・超分子化学</td> </tr> <tr> <td></td> <td>関 宏也</td> <td>プロセス制御</td> </tr> </tbody> </table>	教授	准教授（講師）*	研究内容	吉田尚弘	渡辺隆行	地球化学・熱プラズマ化学	馬場俊秀	本倉 健*	グリーンケミストリー・触媒化学	小坂田耕太郎	竹内大介	合成化学・高分子合成	岩本正和	石谷暖郎*	バイオマスリファイナリー・ナノ空間化学		穴戸 厚	高分子機能化学	山口猛央	田巻孝敬*	燃料電池工学・バイオマテリアル工学	山元公寿	成毛治朗	錯体高分子化学・無機合成化学	久堀 徹		植物生化学・タンパク質化学	穂田宗隆	吉沢道人	有機金属化学・超分子化学		関 宏也	プロセス制御
教授	准教授（講師）*	研究内容																																
吉田尚弘	渡辺隆行	地球化学・熱プラズマ化学																																
馬場俊秀	本倉 健*	グリーンケミストリー・触媒化学																																
小坂田耕太郎	竹内大介	合成化学・高分子合成																																
岩本正和	石谷暖郎*	バイオマスリファイナリー・ナノ空間化学																																
	穴戸 厚	高分子機能化学																																
山口猛央	田巻孝敬*	燃料電池工学・バイオマテリアル工学																																
山元公寿	成毛治朗	錯体高分子化学・無機合成化学																																
久堀 徹		植物生化学・タンパク質化学																																
穂田宗隆	吉沢道人	有機金属化学・超分子化学																																
	関 宏也	プロセス制御																																
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>説明会の日時・場所等は変更になる可能性があります。最新の情報は専攻ホームページでご確認ください。</p> <p>〈専攻説明会〉 第2回：3月31日（土）10：00～ 第3回：4月21日（土）13：00～ 於：東京工業大学 すずかけ台キャンパス G-1棟 G115 講義室 ※説明会終了後、研究室公開</p> <p>〈関西地区説明会〉 4月14日（土）13：00～17：00 於：阪急グランドビル 26階8・10会議室</p> <p>〈九州地区説明会〉 4月15日（日）13：00～17：00 於：アクロス福岡西オオフィス 7階 大会議室</p> <p>〈オープンキャンパス〉 5月18日（金）10：00～、5月19日（土）10：00～ 於：東京工業大学 すずかけ台キャンパス すずかけホール 集会室1 ※説明会終了後、研究室公開</p>																																	
<p>■問合先</p>	<p>〈専攻ホームページ〉 http://www.chemenv.titech.ac.jp/ あるいは、「化学環境」で検索して下さい。</p> <p>〈問合先〉 東京工業大学 大学院総合理工学研究科 化学環境学専攻 専攻長 馬場俊秀（E-mail: chair@chemenv.titech.ac.jp、電話:045-924-5480） 〒226-8502 横浜市緑区長津田町4259 G1-14</p>																																	

東京工業大学大学院 生命理工学研究科

■入学年度/募集学生

入学年度：平成25年4月、または平成24年10月入学

募集する専攻：

- 分子生命科学専攻
- 生物プロセス専攻
- 生体システム専攻
- 生体分子機能工学専攻
- 生命情報専攻

修士課程：大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること

博士課程：大学院修士課程を修了もしくは見込みであること

博士課程（社会人大学院プログラム）：修士の学位を有する者又は学部卒業後2年以上の研究歴を有する者等。修士の学位を有しない者が出願する場合には、出願に先立ち事前審査を要します。

■入試に関する重要な日程

募集要項の配布：平成24年5月10日ころ～

Web (<http://www.titech.ac.jp/admission/graduate/guideline.html>) から入手可能。

出願期間：平成24年6月15日（金）～6月21日（木）

筆答試験：平成24年8月21日（火）、8月22日（水）

口頭試問：平成24年8月下旬（募集要項で確認すること）

■試験内容



東工大は2011年、
創立130周年を迎えました。



すずかけ台キャンパス



大岡山キャンパス

修士課程：

○分子生命科学専攻

英語・専門分野・口頭試問

英語は外部試験のスコアシート提出。

専門分野は 1) 物理化学、2) 有機化学、3) 生化学と分子生物学の3分野から各2問合計6問が出題される。このうち、4問を選択解答する。

口頭試問 学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問を行う。

○生体システム専攻

英語 本学の指定する外部テストの成績を200点に換算し、利用します。

TOEFL-ITP、TOEIC-IP等の団体特別受験は利用できません。

専門分野（生物化学（分子生物学、細胞生物学を含む）3題、生物学2題、物理化学1題、有機化学1題のうちから5題を選択解答）

口頭試問

○生命情報専攻

英語（外部テスト成績利用）

専門分野（物理化学、有機化学、生化学及び分子生物学、生物学、情報の5分野から4問を選択解答）

口頭試問

○生物プロセス専攻

英語：筆答試験を実施、科学論文等の読解、作文

専門科目1：物理化学、有機化学の2分野から出題し、全問解答する

専門科目2：生物化学、生物工学の2分野から出題し、全問解答する

口頭試問：学士論文研究等の内容、及び修士課程での研究計画を中心とした試問

○生体分子機能工学専攻

英語：筆答試験を実施

基礎的専門科目（数学、物理）

専門分野（物理化学、有機化学、生化学）

口頭試問

★各専攻の入試問題（英語を除く）を公開しています

<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/exam/exm-b.html>

博士課程（社会人大学院プログラムを含む）：

○分子生命科学専攻

英語：外部試験のスコアシートを提出した者のうち点数によっては試験が免除される。

口頭試問：学位論文（またはこれに代わる研究業績）の試問、学力検査及び口頭試問。

○生体システム専攻

英語、口述試験（専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問）

○生命情報専攻

英語（外部テスト成績利用）、

口述試験（専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問）

○生物プロセス専攻

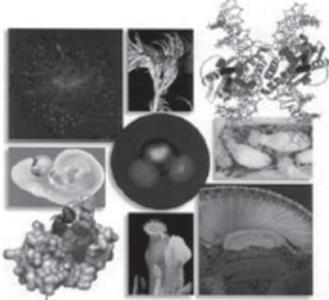
英語、口述試験（専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問）

○生体分子機能工学専攻

英語、口述試験（専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問）

■各専攻の特徴

生体システム専攻

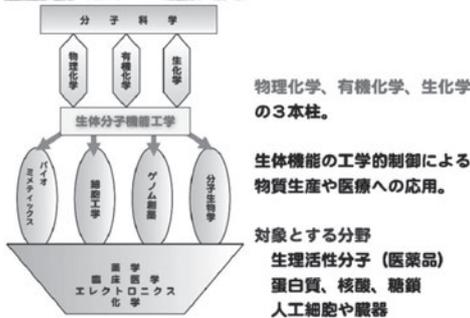
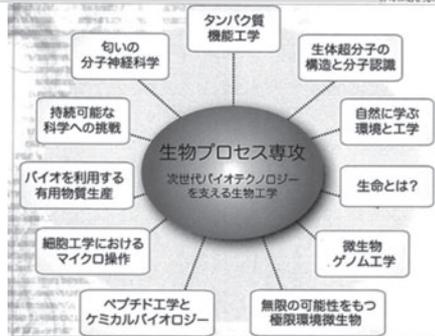


生命情報専攻の特長

理系トップの就職状況
 東工大は、上場49社への就職率が理系トップ
 (東工大44.6%, 慶応40.9%, 京大34.4%, 阪大31.2%,
 木村誠著「消える大学生を養う大学」より)

ユニークで最先端の研究
 バイオサイエンスとバイオテクノロジー両分野
 の融合により、新しい生命理工学イノベーション
 を目指すユニークな研究を展開

充実した教育
 博士課程教育リーディングプログラムに採択され、
 国際的に卓越した教育研究拠点としての教育研究推進。理
 工学分野から人文社会まで多様な講義や、両大学連合
 (一統・東京外語・東京理和産科)の講義も受講可
 博士課程の海外派遣制度も充実



○分子生命科学専攻

本専攻では、原子・分子レベルの視点から分野横断的に生命現象を解明する研究を行っています。このために、物理化学・有機化学・生化学の各分野の連携が大切であると考え、バイオダイナミクス講座(生体物性学、分子・細胞運動学)、バイオ構造化学講座(機能分子化学、構造解析学)、バイオ情報制御学講座(生体反応学、分子遺伝学)が設置されています。これらの講座を中心にして、生命科学に関連する基礎と最先端、かつ分野横断的に総合科学的な領域をもカバーする充実した授業科目を提供すると同時に、研究室教育を重視した教育体制が整っています。特に、大学院教育の中心となる修士論文研究では、その計画段階から複数教員で指導を行い、中間報告会の開催等により研究途中でのフォローも充実しています。また、博士論文研究においても中間報告会を開催するとともに、英語論文を執筆することにより国際的に通用する研究者を育成します。

○生体システム専攻

生体システム専攻は、生体がシステムとして高い統御能を保つ機構、即ち、生体情報・形態形成、分子進化・生体統御、各種細胞機能および発生の機構の解明を目指して研究・教育をおこなっています。この専攻では特に、生体システムの基本的な理解のために、生化学的、生理学的、分子生物学的、細胞生物学的な原理・手法を駆使して研究をおこなっているのが特徴です。研究材料も、細菌、植物、動物と幅広い材料を用いています。講義内容は上記の研究内容、手法の豊富さを反映して幅広く充実したものとなっています。本専攻に入学する学生は、専門分野(生物化学、生物学)の諸学科目を修得し、学部修了程度の学力を備えている事が必要です。

○生命情報専攻

生命情報専攻は、生命理工学研究科の中でも特にバイオサイエンスとバイオテクノロジー両分野の研究者から構成され、両分野が融合した新しい研究領域を切り開いてきました。本専攻は、オーソドックスなウェット系の研究アプローチと情報・理論分野のドライ系の研究アプローチをバランスよく組み合わせ、さらに革新的な技術開発にも積極的に取り組むことで、分子レベルから個体レベルまで様々な階層に張り巡らされた情報の解読と、それに基づく生命の根源的理解を目指しています。本専攻では、理学系と工学系いずれの背景を有する学生をも受け入れています。

○生物プロセス専攻

生物プロセス専攻は、バイオテクノロジーの工学的体系を多面的に修得し、広い視野と深い洞察力を養った上で、生物そのものあるいは生物機能を利用する工業分野さらには学術分野で活躍する、豊かな独創性と柔軟な判断力及び指導力を備えた人材の養成を目的としています。本専攻では有用物質生産と生物機能の応用を目指し、「生物駆動型の新技術」を進展させるための研究・教育を行っている。また、環境問題やエネルギー問題にも積極的に取り組んでいる。本専攻に入学する学生は、物理化学、有機化学、生物化学、生物工学の諸学科目を修得し、学部修了程度の学力を備えている事が必要である。

○生体分子機能工学専攻

本専攻では、種々の生体物質の分子レベルでの機能発現のメカニズムを明らかにすることを第一義とし、さらにそれらの知見をもとに生体分子を工学的に制御したり、有用な生体機能代替材料あるいは生体機能を人工系で発現する分子システムの設計創製を行い、医学・薬学の医療分野や多くの産業分野への応用を図ること、そしてその実現における有為な人材を育てることを目的としています。

■大学入試説明会/研究室公開

○オープンキャンパス・すずかけ祭

期間：オープンキャンパス 平成24年5月18日(金)、19日(土)
 すずかけ祭(学園祭と5専攻の研究室公開) 平成24年5月19日(土)、20日(日)

場所：すずかけ台キャンパス(横浜市緑区長津田町)
 アクセス：東急田園都市線すずかけ台駅徒歩5分

○分子生命科学専攻入試説明会

日時：4月28日(土) 13:30~15:00
 場所：すずかけ台キャンパス、B2棟4階大会議室(426室)

■問合先

〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 J2-15
 東京工業大学大学院生命理工学研究科 生命理工事務グループ
 E-Mail : suz.sei@jim.titech.ac.jp
<http://www.bio.titech.ac.jp/out/information/grad/b/index.html>

★ 入試情報は変更される可能性があります。

必ず募集要項 (<http://www.titech.ac.jp/admission/graduate/guideline.html>) で確認すること。

東京工芸大学大学院

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年度（平成24年度秋季入学を含む） 東京工芸大学大学院工学研究科工業化学専攻 博士前期課程大学院生募集 （社会人選抜を含む） 東京工芸大学大学院工学研究科工業化学専攻 博士後期課程大学院生募集 （社会人選抜を含む）</p>
<p>■願書受付期間</p>	<p>I期入試（社会人特別入学試験を含む）平成24年9月14日－9月20日 II期入試（社会人特別入学試験を含む）平成25年1月25日－1月31日 各々願書受付に先立って受験資格認定申請期間があります。日程および対象者の 詳細についてはお問い合わせ下さい。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程大学院生（募集定員20名） I期入試 平成24年9月29日、II期入試 平成25年2月16日 一般：筆記試験（英語・専門科目）・口述試験 社会人特別入学試験：口述試験 博士後期課程大学院生（募集定員2名） I期入試 平成24年9月29日、II期入試 平成25年2月16日 一般：筆記試験（英語）・口述試験 社会人特別入学試験：口述試験</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>http://www.t-kougei.ac.jp/graduate/engineering/ http://www.lssc.t-kougei.ac.jp/</p> <ul style="list-style-type: none"> ■世界水準の研究環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ナノ科学研究センターを拠点にグリーンナノテクノロジーを展開 ・国内外での共同研究（中国、ベトナム、タイ、ドイツ、USA等） ■材料化学を中心とした基礎研究重視 ■小規模大学院ならではの恵まれた研究環境 <ul style="list-style-type: none"> ・広い研究スペース/人 ・1教員2名までの少人数できめこまかな指導 ・恵まれた大型マシン占有時間 ・TA、RAのチャンスが豊富（学部教育（生命環境化学科）との連携） ■優れた大規模研究助成の実績（工学研究科4専攻協同） ハイテクリサーチ2件、学術フロンティア4件、21世紀COE、 グローバルCOE ■環境関連分野を重視した研究を展開するうえで最適な研究環境 <ul style="list-style-type: none"> ・都心に近いながらも自然豊かな落ち着いた環境 ・神奈川県や厚木市（グリーンビジネス研究会等）との連携、地域貢献 ・環境関連資格・化学関連資格取得支援 ■研究業績が特に優れていると認定された場合所定の年限未満で学位取得が可能 （博士後期課程で実績あり） ■工学研究科と芸術学研究科からなる組織ならではのユニークな研究環境 ■工業化学のコア科目に加えて特徴あるカリキュラム サイエンスコミュニケーター養成講座、国際コミュニケーションリテラシー ■国際学会・シンポジウム参加費用支援制度（東京工芸大学後援会）
<p>■入試ガイダンス</p>	<p>特に予定なし 施設等見学希望歓迎（随時受け付け、共同研究、技術相談も可）</p>
<p>■問い合わせ先</p> 	<p>〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583 ・東京工芸大学入試課（工学研究科担当） E-mail: admission.atsugi@office.t-kougei.ac.jp 電話 (046) 242-9520 (直) FAX (046) 242-3000 ・東京工芸大学工学部生命環境化学科事務室 E-mail: chemjimu@chem.t-kougei.ac.jp 電話 (046) 242-9513 FAX (046) 242-3000</p>

東京農工大学大学院工学府応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年度4月入学 博士前期課程（修士）（大学学部卒業・高専専攻科修了もしくは見込みであること） 博士後期課程（博士）（大学院修士課程修了もしくは見込みであること） 上記以外にも出願可能な場合（社会人特別入試など）がありますので、詳細は下記問い合わせ先までご連絡下さい。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成24年6月上旬～7月下旬 （平成25年4月入学 博士前期課程・筆答試験及び口述試験による入試） 平成24年6月上旬 （平成25年4月入学 博士前期課程・筆答試験免除による入試） 平成26年1月上旬 （平成25年4月入学 博士後期課程） 詳細な日程は決定次第下記ホームページに掲載いたします。社会人特別入試などでは、上記出願期間以前に別途資格審査が必要となります。また、この他の時期にも選考を行うことがありますので、下記ホームページをご覧頂くか下記問い合わせ先までご連絡下さい。本専攻では、他大学・他分野からの学生や社会人を広く募集しています。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程（修士） ○筆答試験及び口述試験による入試（英語、数学、化学（有機材料化学専修のみ化学または物理）、専門科目、口述試験を実施します。） ○筆答試験免除による入試（出身大学の成績証明書（学生）あるいは業務・業績証明書（社会人）に基づく資格判定後、口述試験のみを実施します。） ○社会人特別入試（英語、専門科目、口述試験を実施します。） なお、数学、化学（有機材料化学専修のみ化学または物理）、専門科目については、過去問題を下記入試情報ホームページにて公開しております。 博士後期課程（博士） ○学力試験及び書類審査を総合して行います。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>本専攻は「化学」を基盤とする3つの専修（物質応用化学専修、有機材料化学専修、システム化学工学専修）から出願時に1つの専修を選択）から構成されており、現代文明社会の持続的発展に貢献できるような幅広い教育・研究を展開しています。 「物質応用化学専修」では、物理化学、無機化学、有機化学の広い範囲にわたるバランスの取れた基礎学力習得と、最先端分野（半導体化学、電子エネルギー化学、有機合成化学、分子触媒化学、材料化学、ナノテクノロジーなど）の研究・実験により、化学のあらゆる分野で研究開発を進めるために必要となる独創性と応用力を養成する教育システムを用意しています。 「有機材料化学専修」では、基礎化学、応用化学、数学、物理学といった体系的な知識に基づき、地球環境、エネルギー、ナノ、バイオ、情報などの分野に関わる新しい有機・高分子材料を創造する技術者・研究者の育成を目指しています。有機材料に関して独自性のあるオンリーワンの研究を行い、自ら研究を企画・立案し、マネージメントできる能力を養成します。 「システム化学工学専修」では、化学のみならず工学分野の広い基礎学力に立脚した化学工学という方法論を用いて、環境・エネルギー・グローバル化といった現代の問題を解決するために、“ミクロからマクロまで、実験室から社会まで”を合い言葉に、新しい化学システムを創造するケミカルエンジニアを育成する教育システムを用意しています。 本専攻修了者には化学系企業を中心に多くの分野の有名企業から求人が寄せられており、就職率は毎年ほぼ100%となっています。本専攻はこれまで21世紀COEプログラムや大学院教育改革プログラム等の中核を担ってきており、優秀な人材を育てる教育・研究機関として高く評価されています。また本専攻教員は、科学研究費補助金、科学技術振興機構（JST）や新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）などからの受託研究、そして民間企業との共同研究などにより多額の外部資金を獲得しており、充実した研究環境が整備されています。さらに、博士後期課程学生には本学独自の生活支援制度も用意されており、勉学と研究に打ち込める環境を整えています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>東京農工大学工学部（小金井キャンパス） 詳細は決定次第下記のホームページに掲載します。また、上記日程以外にも大学院入試ガイダンスを行う場合があります。実施する場合には決定次第下記のホームページに掲載します。</p>
<p>■問い合わせ先</p>	<p>184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 東京農工大学小金井地区（工学部）学生サポートセンター入学試験係 電話 042-388-7014（土日・祝祭日を除く 9:00～17:00） 入試情報ホームページ：http://www.tuat.ac.jp/admission/index.html 応用化学専攻/各専修（工学部/各学科）のホームページ： 物質応用化学専修（応用分子化学科）：http://www.tuat.ac.jp/~frontier/ 有機材料化学専修（有機材料化学科）：http://www.tuat.ac.jp/~g-chem/ システム化学工学専修（化学システム工学科）：http://www.tuat.ac.jp/~doce/</p>

東京理科大学大学院 総合化学研究科

<p>■平成25年度募集</p>	<p>総合化学研究科総合化学専攻</p> <p>① 修士課程（他大学等からの推薦入学を含む）</p> <p>② 博士後期課程（社会人特別選抜を含む）</p> <p>③ 外国人留学生（修士課程）</p> <p>④ 外国人留学生（博士後期課程）</p>
<p>■願書受付期間</p>	<p>① 修士課程 平成24年7月 2日（月）～7月12日（木）</p> <p>② 博士後期課程 平成25年1月11日（金）～2月 8日（金）</p> <p>③ 外国人留学生（修士課程） 平成24年5月 1日（火）～ 5月11日（金）</p> <p>④ 外国人留学生（博士後期課程）平成24年10月1日（月）～10月11日（木）</p>
<p>■選考日時・内容</p>	<p>① 修士課程 一般選抜：平成24年8月1日（水）筆記試験/専門科目（物理化学2問、無機及び分析化学2問、有機化学2問、生物化学1問、化学工学1問の計8問のうちから6問を選択）8月3日（金）面接。（出願書類にTOEICスコアシートの原紙が必要） 他大学等からの推薦入学：平成24年8月3日（金）面接</p> <p>② 博士後期課程 平成25年2月26日（火）一般選抜：口頭試問。社会人特別選抜：書類審査・筆記試験・口頭試問（筆記試験は免除することがある）。</p> <p>③ 外国人留学生（修士課程） 第一次選考 書類審査。第二次選考 平成24年8月1日（水）・3日（金）に筆記試験・口頭試問。</p> <p>④ 外国人留学生（博士後期課程） 第一次選考 書類審査。第二次選考 平成25年2月1日（金）～3日（日）のいずれかに筆記試験・口頭試問。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE since 1881</p> </div>	<p>■歴史ある理学研究科化学専攻と工学研究科工業化学専攻を発展的に統合し平成21年4月に開設。</p> <p>■化学を基盤として理学の知と工学の知を融合させた全国でもユニークな化学系単独の大学院。</p> <p>■物質の性質と変化を深く理解し、社会に必要な物質・エネルギーを創製・開発する能力や地球環境、生命現象に関する高度な知識を身に付けた人材の育成。</p> <p>■現代社会が直面する環境保全・エネルギー資源の確保および難病克服等に関するグローバルな仮題の解決に向け、理学・工学の化学系研究者が個々の独創的な研究分野における先端的な技術を発展させつつ、縦割りの研究意識を排しながら結集し、互いの研究内容をよく認識しあい、バリアフリーな教育研究環境と密接な協力体制を構築します。</p> <p>■5コース36研究室：</p> <p>分子集積・分子科学コース レーザー分光学、溶液化学、物性化学、金属錯体化学、超分子化学、機能性分子化学、表面物理化学、プラズモン光学、無機光化学、放射化学、クラスター化学、超分子錯体化学等を専門研究分野とする10研究室</p> <p>合成・反応有機化学コース 反応有機化学、有機合成化学、有機金属化学、構造有機化学、有機元素化学、キラル化学、天然物化学、高分子合成化学等を専門研究分野とする9研究室</p> <p>機能・生体材料化学コース 液晶、高分子化学、生物物理化学、構造生物学、生物有機化学、界面・コロイド化学、複合材料化学、機能性分子、分子集積化学、生体触媒化学、分子細胞生物学等を専門研究分野とする8研究室</p> <p>エネルギー・環境化学コース 太陽光エネルギー変換、無機光化学、触媒化学、電気化学、環境分析化学、環境化学、物質史等を専門研究分野とする5研究室</p> <p>工業化学コース 抽出分離、物質移動、超臨界流体工学、界面科学、工業物理化学、コロイド化学等を専門研究分野とする4研究室</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>下記化学系事務室にお問い合わせください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学 http://www.tus.ac.jp/</p> <p>■入試センター入試課 nyugaku@admin.tus.ac.jp</p> <p>■学務部化学系事務室 kagu_kagakukeijimu@admin.tus.ac.jp TEL 03-5228-8246 FAX 03-5261-4631</p>

慶應義塾大学大学院薬学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年度 慶應義塾大学大学院 薬学研究科 薬科学専攻 前期博士課程（4年制大学卒）学生募集 後期博士課程（修士課程修了者）学生募集 薬学専攻 博士課程（6年制大学卒、修士課程修了者）学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>HP (http://www.pha.keio.ac.jp/g_school/application.html) をご確認ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>薬科学専攻 前期博士課程（推薦入試）6月30日（土）（詳細はHPをご確認ください） ・小論文、面接（他大学・他学部も推薦入試制度あり） （一般入試）8月1日（水）（詳細はHPをご確認ください） ・筆記試験（英語・専門科目）、面接 後期博士課程（一般入試）8月1日（水）（詳細はHPをご確認ください） 薬学専攻 博士課程（一般入試）8月1日（水）（詳細はHPをご確認ください）</p>
<p>■インフォメーション大学の写真など</p> 	<p>■薬学専攻と薬科学専攻 6年制学部を基礎とする薬学専攻の博士課程においては、医療現場の臨床的な課題について研究し、その結果を医療に応用できる優れた研究能力を有する薬剤師や教育者の養成を主たる目的としています。一方、4年制学部を基礎とする薬科学専攻においては、前期博士課程と後期博士課程を通じて、創薬科学等の薬学領域における研究者や教育者の養成を主たる目的としています。</p> <p>■門戸を広げた新制度の大学院 本研究科前期博士課程では薬学はもとより、理工、農学など他学部の学生にも広く門戸を開いています（推薦入試制度あり）。</p> <p>■医学研究科と連携した特徴ある教育 医学研究科と連携して臨床的な研究能力も備えた人材の養成をしています。医学・薬学両研究科は、慶應病院での臨床体験プログラムや医学研究科のラボツアーなどの教育研究における交流が行われており、2つの研究科が連携して創薬研究者を育成する体制をとっています。創薬に向けたトランスレーショナルリサーチにおいて、高度な医薬科学に対応できる人材の養成を目指しています。</p> <p>■薬学独自の Pharma Sciences 教育 本研究科では創薬、治験、臨床とライフサイエンス全般で活躍する優れた人材の養成を目指しています。薬学専攻博士課程では臨床研究能力を持つ薬剤師の養成、薬科学専攻では創薬、生命科学の幅広い分野での薬科学の教育研究を通して、国民の健康増進に寄与するとともに、創薬産業をリードする国際的にも優れた人材の養成を目指しています。これまでの本研究科の前期博士課程修了者は、製薬企業、CRO、化工系企業のほか、医療行政で活躍しています。また、後期博士課程修了者は製薬企業のほか、大学や国公立の研究所などの研究員、大学病院の薬剤師として活躍しています。</p> <p>■充実した学生支援 薬学研究科では、慶應義塾の充実した奨学金制度により、大学院学生の経済的な支援を行っています。</p> <p>■都心のキャンパス 薬学研究科のある芝共立キャンパスは、東京タワーや増上寺に近く、都心の交通の便が良い場所です。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>6月16日（土） 慶應義塾大学大学院薬学研究科オープンキャンパス 会場：芝共立キャンパス （詳細はHPをご確認ください）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒105-8512 港区芝公園1-5-30 慶應義塾大学芝共立キャンパス学生課（大学院担当） TEL：03-5400-2498 FAX：03-5400-2633 E-mail：skcdaigakuin@info.keio.ac.jp http://www.pha.keio.ac.jp</p>

日本大学大学院理工学研究科物質応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年度 日本大学大学院理工学研究科物質応用化学専攻 博士前期課程大学院生募集（社会人入学試験、外国人留学生入学試験を含む） 博士後期課程大学院生募集（社会人入学試験、外国人留学生入学試験を含む）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>【博士前期課程】 一般第1期：6月中旬／一般第2期、社会人第1期：8月中旬／一般第3期、社会人第2期：翌年2月中旬 【博士後期課程】 一般第1期、社会人第1期：8月中旬／一般第2期、社会人第2期：翌年2月中旬 ○外国人留学生：10月初旬に本部学務部国際課に出願（博士前期・後期課程とも共通）。 詳細な日程につきましては、「日本大学大学院理工学研究科ガイド2013」をご覧ください。 http://www.cst.nihon-u.ac.jp/graduate_school/にアクセスしてください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【博士前期課程】 ○試験日：一般第1期：平成24年7月8日（日）／一般第2期、社会人第1期：平成24年9月8日（土）／一般第3期、社会人第2期：平成25年3月9日（土） ○選考方法：一般第1期、第2期：筆記試験と口述試験／一般第3期：課題と口述試験／社会人入学試験：口述試験／外国人留学生入学試験：筆記試験と口述試験 【博士後期課程】 ○試験日：一般第1期、社会人第1期：平成24年9月8日（土）／一般第2期、社会人第2期：平成25年3月9日（土） ○選考方法：一般入学試験：筆記試験と口述試験／社会人入学試験および外国人留学生入学試験：口述試験 □外国人留学生：平成24年11月17日（土）（博士前期・後期課程とも試験日同じ）</p>
<p>■インフォメーション大学の写真など</p>  <p>物質応用化学専攻主任 西宮伸幸</p>    	<p>■国際的視野に立ち、創造的な研究開発能力を発揮できる化学技術者を養成する 物質応用化学専攻では、多様化し高度化する化学分野の先進技術を開発する研究能力と独創性をもつ、実力のある化学技術者や研究者の育成をめざしています。 入学された皆さんは、まず研究室に所属し、そこで教授の個人指導を受けながら、各々の研究テーマに沿って研究活動を行います。研究分野は「ナノテクノロジー」から「ライフサイエンス」まで幅広いですが、それぞれの分野に関連した授業が行われ、高度な知識を無理なく吸収できます。さらに、所属研究室では、「特別演習」によって、専門分野における真の実力を涵養し、体験に基づいた確かな知識を身につけます。</p> <p>■物質応用化学専攻は就職に強い。だから安心して先進の研究に打ち込みます 1938年に工業化学科（現、物質応用化学科）が創設され、これまでに2万余名もの卒業生を社会に輩出してきました。この卒業生の力を集結し、毎年2月には卒業生による専攻独自の就職セミナーを開催しています。その他、就職活動での個別相談などサポート体制も整っています。だから、就職に強い、それが物質応用化学専攻です。</p> <p>■物質応用化学専攻には充実した研究環境が整っています 物質応用化学専攻では、都心のキャンパスという恵まれたロケーションにありながら、フーリエ変換核磁気共鳴装置、電子スピン共鳴装置、飛行時間型質量分析装置、走査型プローブ顕微鏡システム、エネルギー分散型X線分析装置付走査型電子顕微鏡など多くの先端装置を保有しており、大学院生を中心に化学物質の構造解析や物性測定など幅広く利用されています。これらの装置は、研究活動の一環として、各々が実際に操作することで、将来に役立つ知識や経験を培います。物質応用化学専攻では、研究活動を通じて経験に基づいた確かな知識を身につけます。</p> <p>■物質応用化学専攻が参画する先進研究プロジェクト 日本大学N.研究プロジェクト「ナノ物質を基盤とする光・量子技術の極限追求」（代表 大月教授）、理工学部シンボリック・プロジェクト「二酸化炭素を原料とした物質—材料変換プロセスの創製」（代表 遠山准教授）、理工学部プロジェクト研究「iNKT細胞活性化を指標とした食用キノコ類イノシトールリン酸含糖脂質の解析」（代表 榊教授）といった研究科・専攻横断のさまざまな研究プロジェクトに取り組んでいます。物質の性質や性能を分子のレベルまで掘り下げて、物質の持つ可能性をフルに活かすことで「環境」や「ライフサイエンス」など健やか未来を創造する上で必要不可欠な喫緊なテーマについて研究しています。博士後期課程の大学院生にはリサーチ・アシスタントによる経済的な支援、またインターシップによる就職サポートもしています。</p> <p>■安心して学べる充実した奨学金支援制度 日本大学では、「日本大学古田奨学金」「日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金」「理工学部奨学金【第1種】」「理工学部後援会奨学金」などの奨学金制度の他に、物質応用化学専攻独自の奨学金制度もあり、大学院生が安心して学べるようにさまざまな奨学金制度が充実しています。また、ティーチング・アシスタント制度など経済的負担を軽減する制度も数多くあります。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試相談・施設見学はいつでもできます。2月下旬には入学前相談会も行っています。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14 日本大学理工学部入試事務室 TEL 03-3259-0578/FAX 03-3259-0446/E-mail: nyushi@adm.cst.nihon-u.ac.jp/ http://www.cst.nihon-u.ac.jp/graduate_school/ ○日本大学本部学務部入学課：TEL+81-3-5275-8311/FAX+81-3-5275-8324/ E-mail: int.adm@nihon-u.ac.jp/http://www.nihon-u.ac.jp/</p>

早稲田大学 先進理工学研究科 応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 応用化学専攻 大学院 一般入試（修士・博士後期課程）・社会人特別選考（修士・博士後期課程） 学生募集（2013年4月入学及び2012年9月入学を対象）</p>
<p>■出願期間</p>	<p>1. 一般入試 [修士課程] 2012年9月入学・2013年4月入学 出願：2012/6/11～6/18 選考：筆記 2012/7/15 面接2012/7/21 合否：2012/7/27 [博士後期課程] 2012年9月入学 出願：2012/5/21～6/8 選考（面接）：2012/6/30 合否：2012/7/6 [博士後期課程] 2013年4月入学 出願：2013/1/8～1/16 選考（面接）：2013/2/23 合否：2013/2/28</p> <p>2. 社会人特別選考 [修士課程・博士後期課程] 2012年9月入学 出願：2012/5/21～6/8 選考（面接）：2012/6/30 合否：2012/7/6 [修士課程・博士後期課程] 2013年4月入学 出願：2012/12/12～2013/1/7 選考（面接）：2013/2/23 合否：2013/2/28</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆修士課程 一般入試：筆記試験及び面接 ◆博士後期課程一般入試・社会人特別選考（修士課程・博士後期課程）：口述・面接試験 出願時に二年以内のTOEFLまたはTOEIC等の英語能力証明書のスコアカード提出有り</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>応用化学科のある理工65号館と地下鉄入口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●応用化学専攻は「役立つ化学、役立てる化学」をキーワードに、化学についてとことん学びたい方の意欲に応えます。 ●文部科学省より21世紀COE拠点に引き続いて、グローバルCOE拠点「実践的 化学知」として採択され、「英知」の構築と化学系研究者の「知力」養成を目的 とした研究教育を行ってきました。 ●本学博士キャリアセンターが、博士後期課程学生のキャリアパスをサポートし ます。 ●本学では、博士後期課程学生に対する授業料相当額の奨学金による支援制度が あります。 ●キャンパスは東京都心の東京メトロ副都心線西早稲田駅に直結しています。 ●応用化学専攻に関する詳細はウェブサイトを御覧ください。 http://www.waseda-applchem.jp/
<p>■問い合わせ先</p>	<p>早稲田大学理工学術院統合事務所 大学院入試係 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階 Email：gyoumu@sci.waseda.ac.jp 電話：03-5286-3808 FAX：03-5286-1689</p>

神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻

<p>■募集学生：</p>	<p>博士前期課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） 博士後期課程（大学院博士前期課程または修士課程を修了もしくは見込みであること） 平成25年4月入学 その他、「社会人入試」も行っています。 詳細はお問い合わせ下さい。</p>
<p>■出願期間（予定）：</p>	<p>平成24年8月中旬頃（博士前期・後期課程共通） 平成25年1月下旬頃（博士前期・後期課程共通） 正式には4月以降に決定します。詳細はお問い合わせ下さい。</p>
<p>■試験内容（予定）：</p>	<p>博士前期課程 英語と専門科目（物理化学、化学工学、分析化学、有機化学、無機化学、生物化学、微生物学、生命科学の各専門分野から2問、全16問から6問を選択して解答）の筆記試験および面接によって合格・不合格を判定します。 博士後期課程 英語の筆記試験とこれまでの研究、今後の研究に関する口述試験によって合格・不合格を判定します。 詳細はお問い合わせ下さい。</p>
<p>■インフォメーション：</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 3; padding-left: 10px;"> <p>今日、地球規模での環境との調和に配慮した技術体系の確立が、分野を問わずどの産業でも強く望まれています。特に、環境との調和と省資源・省エネルギーを基本とした化学プロセスの開発、高機能材料、エレクトロニクスやバイオテクノロジーの分野に於ける技術革新、新エネルギーの開発などが重要であり、いずれも応用化学、バイオサイエンスが取り組むべき対象でもあります。</p> <p>本専攻では、このような社会的要請に応えるべく、諸分野にわたる幅広い基礎知識と応用力を養うことで、将来、有能な化学技術者、バイオ技術者として活躍でき、しかも創造力と広い視野を合わせ持つ人材の輩出を目指しています。</p> <p>本学では、平成18年度から応用バイオ科学科を開設し、生物および化学を基盤とする教育と研究の充実に向けてきており、平成22年3月に最初の卒業生を送り出しました。この第一期生を視野に入れて、平成21年度から本専攻を2コース制（「応用化学コース」と「バイオサイエンスコース」）に再編し、カリキュラムの改訂、充実を行いました。</p> <p>「応用化学コース」は、主に応用化学科で応用化学に関する工学教育を受けてきた学生を対象とし、「バイオサイエンスコース」は、主に応用バイオ科学科で応用バイオ科学に関する教育を受けてきた学生を対象としています。両学科はともに学位は「工学」であり、同系列から派生していることから、両学科を基礎とした専攻として高度な専門教育と研究指導を実施できるように、カリキュラム面を整備してきています。</p> <p>博士前期課程の授業科目は「応用化学コース」と「バイオサイエンスコース」に大きく分け、自分の学びたい専門分野とこれまでの学習内容を踏まえて履修科目を選択できるように配慮しました。それぞれのコースには、必修科目としてPBL系科目である「総合プロジェクト」、選択必修科目として「特別研究」と「長期インターンシップ」を置いてあります。また、大学院生が学ぶ上で専門の基礎となる科目と応用科目を分けて配置し、さらに特定の分野の最先端を学ぶことのできる科目を配置しました。このため、両コースの科目を一定の条件の下で互換して履修できるように配慮してあります。</p> <p>博士後期課程も同様に「応用化学コース」と「バイオサイエンスコース」に大きく分け、単位制を採用するとともに、研究指導科目として「特別研究（博士論文）」を置いてあります。</p> </div> </div>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>特別に設けてありませんので、詳細はお問い合わせ下さい。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>お問い合わせのフォームがホームページにありますので、それをご利用下さい。 詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.kait.jp/ug_gr/postgraduate/ または専攻主任、三枝康男の下記メールアドレス宛に直接お問い合わせ下さい。 Email: saegusa@chem.kanagawa-it.ac.jp（@を半角に修正してお使い下さい。）</p>

神奈川県立 神奈川大学大学院 理学研究科 化学専攻

<p>■募集学生：</p>	<p>博士前期課程 30名。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学における専門分野の基礎学力を有する人。 2. 理学部化学科の専門科目のうち無機・分析化学、有機化学、物理化学の3分野の基礎を修得している人。 3. 化学の専門分野の原理を解明し、基礎的あるいは応用的研究を推進する意欲をもっている人。 4. 英語で書かれた化学教科書が理解できる程度の英語能力のある人。 <p>博士後期課程 3名。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 化学における専門分野の確かな学力を有する人。 2. 化学の専門知識を教育・研究・開発に役立たせることに強い意欲を持ち、将来は化学分野での指導的立場を志す人。 3. 新たな問題を発掘して、それを解決する意欲をもっている人。 4. 英語で書かれた専門分野の学術論文が読める程度の英語読解力を有し、論文を執筆できる程度の英語作文力を修得する意欲のある人
<p>■出願期間（年間予定）：</p>	<p>博士前期・後期課程</p> <p>2012年秋季入試（2013年入学者のための） 出願期間 7月2日(月)～7月6日(金)(消印有効)。試験日 8月23日(木)[筆記]、8月24日(金)[口述]。合格発表 8月29日(水)。</p> <p>2013年春季入試（2013年入学者のための） 出願期間 2013年1月25日(金)～2月1日(金)(消印有効)。試験日 3月7日(木)[筆記]、3月8日(金)[口述]。合格発表 3月13日(水)。</p>
<p>■試験内容：</p>	<p>博士前期課程 理学部化学科の専門科目のうち無機・分析化学、有機化学、物理化学の3分野の基礎を修得しているか、また英語で書かれた化学の教科書が理解できる程度の英語能力を持っているか、を問う。筆記試験 無機・分析、有機、物理化学の3分野から出題される化学、および化学に関する英語。口述試験 志望動機および卒業研究の内容を中心に行う。</p> <p>博士後期課程 筆記試験 英語。英語で書かれた専門分野の学術論文が読める程度の英語読解力を有するかを問う。口述試験 修士論文および志望研究領域を中心に行う。また論文を執筆できる程度の英語作文力を修得する意欲があるかを問う。</p>
<p>■インフォメーション：</p>	<p>研究室と研究主題は以下の通り：</p> <p>天野 力研究室（クラスターとナノ粒子の構造と性質）、上村大輔研究室（生物現象鍵物質、医薬品リードの探索・開発）、加部義夫研究室（有機ケイ素化学、フルレン化学）、川本達也研究室（含硫シッフ塩基金属錯体の反応性と物性、含硫アミド金属錯体の合成）、木原伸浩研究室（官能基相互作用を利用した分子システム・分子触媒、有機合成反応の開発、酸化分解性高分子材料の開発）、西本右子研究室（生活と環境を視野に入れた水、空気、出土土壌などの分析化学の研究）、野宮健司研究室（第4族元素含有ポリ酸塩の合成と触媒設計、貴金属錯体の合成と抗菌作用および構造活性相関、ポリ酸アニオンと貴金属クラスターカチオンによるクラスター間化合物の形成と分子構造および結晶構造）、平田善則研究室（芳香族化合物の溶液中の光物理過程、光化学初期過程、液体のダイナミクス、相転移と形態発生）、堀 久男研究室（環境有害・負荷物質の分解・無害化、再資源化反応の開発）、松原世明研究室（実在反応系の理論設計、ONIOM分子動力学法・新規分子理論の開発と応用）、松本正勝研究室（化学発光・蛍光化合物の開発、新規機能性化合物の開発）、山口和夫研究室（ホスト・ゲスト複合体の合成と構造解析、感光性分子集合体の開発、感光性表面修飾剤の開発）</p>
<p>■入試ガイダンスの開催</p>	<p>2012年4月5日（木）13:30より湘南ひらつかキャンパスにて開催。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>野宮健司（〒259-1293 平塚市土屋2946 神奈川大学理学部化学科、Tel 0463-59-4111、E-mail nomiya@kanagawa-u.ac.jp）</p>

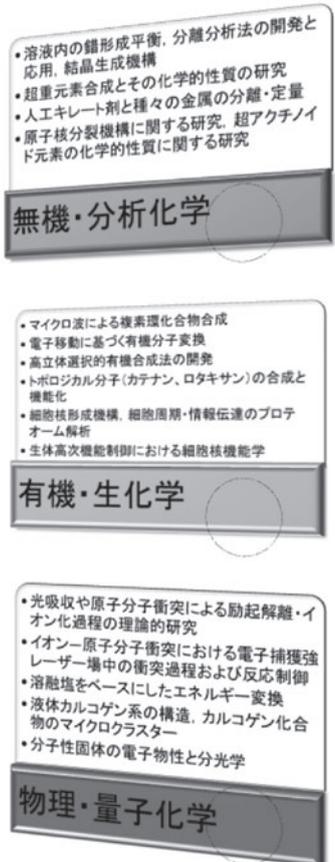
総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学・機能分子科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学専攻・機能分子科学専攻 5年一貫制博士課程および博士後期課程(3年次編入学)学生募集</p>
<p>■出願期間(年間予定)</p>	<p>5年一貫制博士課程 ◆平成25年4月入学：平成24年8月17日(金)－8月23日(木) 博士後期課程(3年次編入学) ◆平成24年10月入学：平成24年7月27日(金)－8月2日(木) ◆平成25年4月入学(第1回)：平成24年7月27日(金)－8月2日(木) ◆平成25年4月入学(第2回)：平成24年11月30日(金)－12月6日(木) 上記はいずれも予定で、正確には下記HPまたは問合せ先に確認ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>5年一貫制博士課程 ◆平成25年4月入学試験日：9月24日(月)－9月25日(火) ◆選抜方法：書類選考、筆記試験、面接。筆記試験は英語と専門科目。英語はTOEFLまたはTOEICのスコアが要求得点(TOEFL-CBT:173, TOEFL-PBT:500, TOEFL-iBT:61, TOEIC:586)以上の場合、免除。専門科目は、物理化学・有機化学・無機化学・生物・化学・物理学A(古典力学・電磁気学)・物理学B(量子力学・熱統計力学)の6科目から2科目を出願時に選択し、その2科目4題のうちから試験時に任意の3題を選択解答。 博士後期課程(3年次編入学) ◆平成24年10月入学試験日：平成24年8月27日(月)－8月28日(火) ◆平成25年4月入学(第1回)試験日：平成24年8月27日(月)－8月28日(火) ◆平成25年4月入学(第2回)試験日：平成25年1月28日(月)－1月29日(火) ◆選抜方法：書類選考、面接。面接では、これまでに行った研究及び今後志望する研究の内容を中心に行う。 上記はいずれも予定で、正確には下記HPまたは問合せ先に確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p>   <p>国立大学法人 総合研究大学院大学 The Graduate University for Advanced Studies [SOKENDAI]</p>  <p>大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所 Institute for Molecular Science</p>	<p>総合研究大学院大学(総研大)は学部をもたない大学院のみの大学です。学部卒から入学する5年一貫制博士課程、修士修了から入学する博士後期課程(3年次編入学)が設けられています。物理科学研究科の構造・機能分子科学専攻の学生は基盤機関の一つである自然科学研究機構・分子科学研究所において、最先端の研究施設を用いた高いレベルの博士研究を進め学位を取得できます。分子科学における世界の最先端研究技術・研究者の交流拠点であるため、幅広い視野や独創性、国際性が身に付きます。また、コース別教育プログラムにおいて、短期海外留学の他、国内の大学・公的研究機関・民間企業へのインターンシップに対する援助、学生主導のセミナー開催など、さまざまなユニークな教育を行っています。</p> <p>構造分子科学及び機能分子科学専攻では全年次の大学院生にRA(リサーチアシスタント)などによる経済的支援(博士後期課程で年額100万円程度)を行っており、また、分子研特別奨学生制度を設けて博士後期課程の優秀な学生に奨学金(RAとあわせて年額250万円程度)を支給しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>◆オープンキャンパス・分子研シンポジウム：平成24年6月1日(金)－2日(土) ◆夏の体験入学：平成24年8月6日(月)－8月9日(木)</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部国際研究協力課 大学院係 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地 電話 0564-55-7139 E-mail : r7139@orion.ac.jp http://www.ims.ac.jp/indexj.html</p>

横浜国立大学 大学院工学府 機能発現工学専攻 先端物質化学コース

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年度（平成24年度10月入学含む） 横浜国立大学 大学院工学府 機能発現工学専攻 先端物質化学コース 博士課程前期：一般（特別選抜・筆記）、社会人特別選抜、外国人留学生 博士課程後期：一般、社会人特別選抜、外国人留学生</p>
<p>■出願期間（予定）</p>	<p>■博士課程前期・後期（一般・社会人特別選抜・外国人留学生） <u>平成24年6月18日(月)～21日(木)（予定）</u></p> <p>・募集要項および問合先ホームページから最新情報を必ずご確認ください。 ・あらかじめ志望先教員とよく相談した上で、願書を提出してください。 ・社会人特別選抜では、出願前に出願資格認定（申請期間（予定）：平成24年5月21日(月)～23日(水)）を受ける必要がありますので、志望先教員と相談の上、資格認定の申請を行ってください。</p>
<p>■試験内容（予定）</p>	<p>■博士課程前期 一般（特別選抜）：<u>平成24年7月17日(火)～18日(水)（予定）</u> 口述試験 一般（筆記）・外国人留学生：<u>平成24年8月21日(火)～23日(木)（予定）</u> 外国語(英語)^{*1}・学科試験Ⅰ・学科試験Ⅱ・日本語^{*2}・面接 社会人特別選抜：<u>平成24年8月21日(火)～23日(木)（予定）</u> 面接 ※1 筆記試験は実施せず、TOEICまたはTOEFLのスコアに基づいて評価します。 ※2 外国人留学生のみ実施</p> <p>■博士課程後期 一般・外国人留学生：<u>平成24年8月21日(火)～23日(木)（予定）</u> 英語^{*1}・学科試験・日本語^{*2}・口述試験 社会人特別選抜：<u>平成24年8月21日(火)～23日(木)（予定）</u> 面接 ※1 筆記試験は実施せず、TOEICまたはTOEFLのスコアに基づいて評価します。 ※2 外国人留学生のみ実施</p> <p>・募集要項および問合先ホームページから最新情報を必ずご確認ください。 ・第2次学生募集を行う場合は、平成24年11月頃に募集要項を発表します。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>■先端物質化学コースでは他大学・他分野からの学生を広く募集しています。 ■先端物質化学コースでは、生体関連物質を含む広範な物質の分子・材料設計を行い、その合成方法を確立し、さらにその機能解析を行うことにより、健康で快適かつ持続可能社会を支える先端物質化学に関する体系的な教育を行っています。 分野のキーワード：合成有機化学、高分子化学、有機材料化学、有機金属化学、物理有機化学、生体物質構造学、光化学、触媒化学、固体化学、固体物性、電気化学、量子化学、表面処理工学、大気化学、分析化学・アストロバイオロジー、理論計算シミュレーション 教員紹介：http://gakufu.eng.ynu.ac.jp/staff/subject2_1/index.html ※各教員の詳細な研究内容については、当コースの教員が兼担している「理工学部 化学・生命系学科 化学教育プログラム」の教員紹介ページをご覧ください。 http://chem.ynu.ac.jp/laboratory.php ■先端物質化学コースでは、研究能力・開発能力の育成を主眼としたTEDプログラムと、基礎知識を総合し応用技術を構築する能力の育成を主眼としたPEDプログラムの2つの教育プログラムを施行しています（詳細は志望先教員または入試委員にお問い合わせください）。</p>
<p>■相談窓口</p>	<p>志望先教員に随時ご相談ください。一般的なご相談は、問合先ホームページに記載の入試委員にご連絡ください。事務的なご相談は、問合先に記載の大学院係にご連絡ください。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号 横浜国立大学大学院工学研究院等大学院係 TEL 045-339-3817, 3818 FAX 045-339-3829 http://gakufu.eng.ynu.ac.jp/exam/exam/index.html</p>

新潟大学大学院自然科学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年度（平成24年度10月入学含む） 新潟大学大学院自然科学研究科数理物質科学専攻化学コース 博士前期（修士）課程 一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試 博士後期（博士）課程 一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p> <p>募集要項は5月下旬発行予定ですが、自然科学研究科ホームページでも同時に公開します。要項はホームページから請求できます。</p>	<p>○博士前期（修士）課程 第1次募集 平成24年6月下旬予定 第2次募集 平成25年1月中旬予定 ○博士後期（博士）課程 第1次募集 平成24年7月下旬予定 第2次募集 平成25年1月初旬予定 博士後期課程では第3次および第4次募集を行う場合もあります。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>○博士前期（修士）課程 筆記試験および面接：第1次募集8月中旬予定、第2次募集2月中旬予定 専門科目（化学）、外国語（英語） ただし、外国語（英語）の筆記試験は実施せず、TOEICまたはTOEFLのスコアに基づいて評価します。 第1次募集には筆記試験を免除する口述試験の制度もあります。 （内容については募集要項および自然科学研究科ホームページを確認してください） ○博士後期（博士）課程 口述試験：第1次募集8月下旬予定、第2次募集1月下旬予定 （社会人特別入試の実施日は募集要項を確認してください）</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>「化学コースの研究テーマ」</p>	<p>化学コースでは他大学、他分野からの学生を広く募集しています。</p> <p>○化学コースの概要 化学コースには、無機・分析化学、核・放射化学、有機化学、生化学、物理化学、量子化学の各研究室があり、多彩な研究が行なわれています。それらの研究を通して、原子核から無機物質、有機物質、生体高分子におよぶ様々な物質の化学的性質、構造や反応について、実験および理論に基づき原子・分子レベルから解明します。重元素の核的・化学的性質の解明、イオン・分子間の反応機構の解明とレーザー場による反応制御、物質の固体や液体状態の構造とダイナミクスの解明、化学反応の量子状態ごとの基礎過程解明とデータ解析法、電子およびスピン制御による新機能材料の開発、微量金属イオンの溶液内反応と構造に基づく分離・濃縮定量法の開発、有機化合物の構造と反応機構に基づく新合成法開発と機能物質創製、ゲノム情報を利用した生体高分子の機能解析と生体組織の高次機能解明について高度な教育研究を行います。</p> <p>○特色ある制度 自然科学研究科では海外の大学との連携を深めるグローバルサーカスの制度を進めています。これにより、海外からの留学生の受け入れとともに、海外の大学との交流や共同研究への発展を目指しています。また、海外での学位取得（ダブルディグリー）も視野に入れています。 そのほか、博士後期課程には研究費、論文投稿や国際会議での発表を支援する制度があります。</p> <p>○化学コースの教育研究は理学部化学科教員が担当しています。 理学部化学科ホームページhttp://chem.sc.niigata-u.ac.jp/</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学大学院自然科学研究科学務係 TEL 025-262-7387 自然科学研究科ホームページhttp://www.gs.niigata-u.ac.jp/</p>

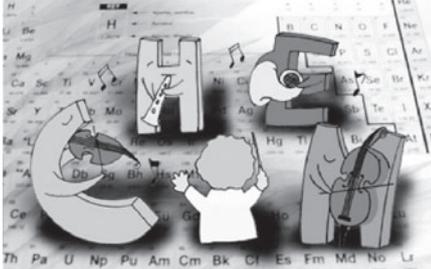
富山大学大学院理工学教育部（理学領域）化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年度（平成24年度10月入学を含む） 富山大学大学院理工学教育部（理学領域）化学専攻修士課程大学院生</p>
<p>■出願期間</p>	<p>GPA 特別入試については平成24年6月中旬予定 一般入試（H24年10月、H25年4月入学）については平成24年7月下旬予定 詳細は、GPA 特別入試については5月末までに、一般選抜については6月末までにHP（http://www.sci.u-toyama.ac.jp/ex/index.html）において公開します。 ※詳細日程は学生募集要項（5月・6月発行）をお取り寄せの上ご確認願います。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>GPA 特別入試 口述試験のみ、ただし、以下の式で定義される院試GPAが2.5以上であること。 院試GPA = $\frac{(\text{秀あるいは優の総単位数}) \times 3 + (\text{良の総単位数}) \times 2 + (\text{可の総単位数})}{\text{修得単位数}}$</p> <p>一般入試 筆記試験（専門科目、英語）、口述試験</p>
<p>■インフォメーション大学の写真など</p> <div style="text-align: center;">    <p>富山大学五福キャンパスユリノキ通り</p> </div>	<p>理工学教育部は、自然界の未知なる仕組みの解明や、その仕組みを応用する独創的な研究に取り組むとともに、研究をバックボーンとした教育を行うことによって、これまで幾多の人材を社会に輩出しています。修士課程では、学部教育を土台とした幅広い基盤を持つ学生を受け入れ、研究活動を通じた教育により、知識と技術を生かし社会で活躍する人材育成を目指します。少人数教育により、きめ細やかな教育や研究指導を行っています。研究棟の増築、改修により、教育研究環境も大変良くなっています。さらに、研究者として社会への貢献を志す学生は、博士課程へ進学することもできます。</p> <p>化学専攻には大きく分けて、反応物性化学、合成有機化学、水素同位体科学の3つのグループがあり、合わせて7つの研究分野から構成されています。</p> <p>反応物性化学：反応物性化学の主題は、物質を原子分子の集合体として巨視的に理解することや、個々の微視的振る舞いを理解することです。光化学分野では、有機化合物や遷移金属錯体の光励起状態の性質や光電子移動などの素反応について、レーザー分光法と量子化学計算を用いた基礎的研究を行っています。物理化学分野では、分子レベルの視点と速度論的手法を用いて、触媒の活性発現機構の解明と新規触媒の開発を行っています。無機分析化学分野では、遷移金属化合物の構造や性質を、錯体化学的および分析化学的手法により研究しています。特に、生体内金属の機能や構造の解明につながる基礎的研究に重点を置いています。錯体化学分野では、発光性や外部応答性など、機能性を示す新規錯体の合成と物性解析を行っています。</p> <p>合成有機化学：大半の有機分子の立体構造および個々の物理化学的性質は、炭素・炭素結合に関するσ-およびπ-結合様式の組合わせに基づいています。有機化学及び天然物化学分野では、実験的および理論的指針を検討・考察しながらσ-およびπ-性炭素・炭素結合形成のための新しい反応および試薬の開発を行い、それらを用いて期待する物性を効率よく発現する分子構造を構築し、より有用な有機化合物を探求するという基礎的かつ目的合成研究を幅広く行っています。</p> <p>水素同位体科学：次世代の高密度エネルギー源として有望な核融合炉で必須とされているトリチウム安全取扱技術の確立や新しい計測法の開発、また核融合炉材料中の水素同位体挙動の解明などの研究を行っています。さらに、独自に開発した粉体表面修飾法を用いて、燃料電池用電極触媒など新規な機能性粉体材料の開発を行っています。</p> <p>立山連峰を仰ぎ見ることのできる富山大学のキャンパスで皆さんが理学を学んで将来のための力を養われることを切望しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>下記の理学系支援グループにお問い合わせ下さい。</p>
<p>■入試についての問合せ先</p>	<p>富山大学理学部 理学系支援グループ 〒930-8555 富山市五福3190番地 電話：076-445-6546 FAX：076-445-6550</p>

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学

<p>■募集学生</p>	<p>北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科 平成25年度大学院博士前期及び後期課程学生募集（平成24年度も含む）</p>
<p>■出願メ切（年間予定）</p>	<p>博士前期課程（平成25年4月入学・第1回入試には平成24年10月入学を含む） 【一般選抜】 第1回 平成24年 7月10日（火）（当日消印有効。以下同じ） 第2回 平成24年10月 9日（火） 第3回 平成25年 1月22日（火） ※推薦入学者選抜、飛び入学等の出願メ切、試験内容等については下記URLにてご確認願います。 http://www.jaist.ac.jp/gakusei/index.html</p> <p>博士後期課程 【一般選抜】 平成24年10月入学 平成24年 6月 5日（火）（当日消印有効。以下同じ） 平成25年 4月入学 平成24年11月13日（火）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程 （選抜方法） 入学者の選抜は、筆記試験を課さず、志願者から提出された小論文に基づく質疑応答を中心とする面接を重視した選抜方法です。この面接の結果と学業成績証明書等を総合判定し、合格者を決定します。 （面接方法） 面接時間は30分です。その中で出願時に提出した小論文の内容の口頭発表を行い、それに関する口述試問、キーワード（志願者が関心を有する事項等）を基にした口述試問、基礎的な英語の口述試問（英文を提示し、それについての試問）及び出身専攻分野を考慮した基礎的な専門知識に関する口述試問を行います。</p> <p>博士後期課程 （選抜方法） 入学者の選抜は、次の事項により行います。 ① 学位論文、研究概要等に関する試問及び面接 （必要に応じて筆記試験を課すことがあります） ② 学業成績証明書 ③ TOEFL又はTOEICの成績</p>
<p>■大学について</p> 	<p>国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）は、学部を置くことなく、独自のキャンパスと教育研究組織を持つ我が国最初の国立大学院大学として1990年に創設されました。JAISTは、最高水準の学問的環境を創出し、次代の科学技術創造の指導的役割を担う人材を育成することによって、世界的な高等教育研究機関として文明の発展に貢献することを目指しています。マテリアルサイエンス研究科の教授陣は、物理・化学・バイオの各分野における世界的な研究者で構成されており、相互に協力し合って、研究・教育活動を活発に行っています。一例を挙げれば、教員一人当たりの研究論文数や外部資金獲得額は、日本の大学の中で常にトップを争う位置にあります。</p> <p>JAISTは出身学部・学科を問わず、社会人、留学生などあらゆる分野から意欲ある人材を求めています。一人一人のキャリア目標の実現を支援するために、修学目的に対応した教育プログラム、コースワークを重視した実践的カリキュラム、各種給付型奨学金、研究留学やインターンシップ等の経費補助等の多彩な支援をしています。</p> <p>キャンパスに隣接し、学内の情報環境と直結した学生寄宿舍を低廉な価格（月額12,000円程度から）で用意しています。また、本学向けに特別に設定された安価なカーシェアリングシステムも導入されています。</p>
<p>■大学院説明会の開催</p>	<p>春季、夏季、秋季と開催しています。詳しい日程については、下記URLにて随時お知らせしています。 http://www.jaist.ac.jp/gakusei/index.html</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 入学案内 TEL: 0761-51-1966, FAX: 0761-51-1959 E-mail: nyugaku@jaist.ac.jp http://www.jaist.ac.jp/</p>

岐阜大学大学院工学研究科応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程応用化学専攻（大学卒業もしくは見込みであること。推薦による出願者は、化学系の学科の出身であること）：平成25年4月入学 博士後期課程物質工学専攻（修士の学位を取得もしくは見込みであること）：平成24年10月もしくは平成25年4月入学</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>平成24年6月21日（木）・22日（金）（博士前期（推薦）、博士後期（平成24年度秋期入学）） 試験日 7月7日（土） 平成24年7月18日（水）～7月20日（金）（博士前期（一般、社会人、社会人プログラム、外国人留学生1次募集）、博士後期（一般、社会人、外国人留学生1次募集）） 試験日 博士前期 8月29日（水）・30日（木）、博士後期 8月31日（金） 平成24年12月13日（木）・14日（金）（博士前期（一般、社会人、社会人プログラム、外国人留学生2次募集*）、博士後期（一般、社会人、外国人留学生2次募集）） 試験日 博士前期 1月24日（木）・25日（金）、博士後期 1月25日（金） *但し、一般・社会人は1次募集で欠員が出た場合にのみ行う。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>1) 博士前期（推薦）：面接、推薦書、成績証明書、志望理由書により総合的に合格・不合格を判定します。推薦要件は出身大学の化学系学科内で原則として上位20%以内の学業成績を有し、かつ大学の学長、学部長、または学科長から推薦を得られる者で、合格した場合は、入学を確約できる者。 2) 博士前期（一般）：英語 100点、専門科目 300点（物理化学・無機化学・有機化学各100点）の筆記試験によって合格・不合格を判定します。 3) 博士後期：面接、学業成績証明書、修士論文要旨等および研究（希望）計画書により総合的に合格・不合格を判定します。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>応用化学専攻では、将来の技術革新に対処できるように、分子設計工学、物質変換工学、および物質機能工学の講座を配置し、広く学際領域の教育と研究を行っています。</p> <p>分子設計工学講座では、種々の物質の分子レベル・電子レベルにおける設計（分子デザイン）に始まり、それらを作るための反応の設計（反応デザイン）、これに基づく新しい物質の合成、そしてその性質の検討に至るまで、包括的な研究を手掛けています。軌道理論とコンピュータ計算による分子デザインと反応設計、理論に基づく新しい分子の創製、コロイド粒子の結晶化と機能化、レオロジー、新しい液晶物質や超分子系のデザインとその構造・性質の評価、金属イオンを含むポリマーの性質の検討等、基礎から応用に至る研究・教育を行っています。</p> <p>物質変換工学講座では、分子・物質の形・骨組みを変える新しい学問を創ることを目指しています。資源を循環させ、自然と共生できる社会を築くためには、身の回りの様々な化学物質を自在に効率的に別の物質やエネルギーに変換できる画期的な方法の出現が望まれています。またその技術は、環境と調和できるものでなければなりません。私たちは、特に化学物質に対する元素の特徴を生かした理論の構築とその実践から超効率物質変換法の創製、ならびに化学物質の高効率エネルギー変換法を研究・教育しています。</p> <p>また、物質機能工学講座では、物質や材料を作り上げている分子・錯体の構造を精密にデザインすることによって、これまでにない優れた性質・機能を持つ材料の開発を目指しています。生理活性物質の合成やそれを可能にするための高効率、高選択的な有機反応の開発を手掛けており、またナノメートル（百万分の一ミリメートル）からマイクロメートル（千分の一ミリメートル）サイズの微小空間を精密にデザインすることによって化学反応や物質移動をコントロールし、新しい機能の発現や材料の高機能化、分析の簡易化・迅速化・省資源化を目指し研究・教育を行っています。</p> <p>これらの研究・教育を通じて、遷移金属錯体や液晶・超分子などの集合体物性を利用した電子材料及び新機能性材料、有機金属化合物及びその他の有機化合物を用いる有機機能材料、高機能高分子材料等の開発、生物的な生産技術と環境改善技術の開発、さらにこれら新素材の合成に関する基礎研究と工業化に対して優れた創造力を持つ研究者と高度の技術者の育成を目指しています。</p> <p>学外からの入学を希望する受験者には、推薦入試の制度がありますので、受験を考えている学生諸君は研究・教育の指導を希望する教員に連絡をしてみてください。</p> <p>応用化学専攻に所属の教員は、博士後期課程では物質工学専攻に所属しています。岐阜大学には平成22年度にイノベーション創出若手人材養成センターが設置され、実践プログラムとして、学内外から公募した若手研究者（毎年24名程度）にイノベーションスキルプログラム（アイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語）を行った後、海外派遣（国際教育研究プログラム）または企業派遣（産学連携教育研究プログラム）を行っています。また、工学研究科では、博士後期課程に入学する方で、入学金の支払いが必要な方に対し、申請により入学料相当額を奨学金として給付しています。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 岐阜大学工学部入試係 電話 058-293-2371/2372/2828 FAX 058-293-2379 http://www.gifu-u.ac.jp/eng/</p>

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 環境・生命工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程 環境・生命工学専攻 平成25年4月入学 博士後期課程 環境・生命工学専攻 平成24年10月入学および平成25年4月入学</p>
<p>■入試日程および内容</p>	<p>I. 博士前期課程 環境・生命工学専攻 (平成25年4月入学)</p> <p>① 高等専門学校専攻科修了生特別推薦入試 事前審査出願期間：平成24年5月7日(月)～5月14日(月)</p> <p>② 一般入試(第1次募集)、社会人入試(第1次募集)、高等専門学校専攻科修了生推薦入試 出願期間：平成24年7月23日(月)～7月30日(月) 入試実施日：平成24年8月31日(金)</p> <p>③ 一般入試(第2次募集)、社会人入試(第2次募集)、外国人留学生入試 出願期間：平成24年12月10日(月)～12月14日(金) 入試実施日：平成25年2月5日(火)</p> <p>II-1. 博士後期課程 機能材料工学専攻 (平成24年10月入学)</p> <p>① 一般入試、社会人入試、外国人留学生渡日前入試 出願期間：平成24年6月25日(月)～6月28日(木) 入試実施日：平成24年7月17日(火) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ]</p> <p>II-2. 博士後期課程 環境・生命工学専攻 (平成25年4月入学)</p> <p>① 一般入試(第1次募集)、社会人入試(第1次募集)、外国人留学生渡日前入試(第1次募集) 出願期間：平成24年8月17日(金)～8月22日(水) 入試実施日：平成24年8月30日(木) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ]</p> <p>② 一般入試(第2次募集)、社会人入試(第2次募集)、外国人留学生渡日前入試(第2次募集) 出願期間：平成25年1月7日(月)～1月11日(金) 入試実施日：平成25年2月4日(月) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ]</p> <p>*入試科目・日時等については、募集要項をご確認下さい。 *「環境・生命工学専攻」は、一般の入試のほか、高専専攻科修了生に対する特別推薦入試、推薦入試を設けています。 *「環境・生命工学専攻」では、長期履修制度を実施して、一般社会人の皆さんの学位と高度専門知識の取得を支援しています。これは、就職している方、育児・介護等の事情がある方など、標準修了年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)での修了が困難な方が、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して修了・学位取得する制度です。この場合の授業料は、標準修業年限分と同額です。</p>
<p>■インフォメーション大学の写真など</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 70%; padding-left: 10px;"> <p>「環境・生命工学専攻」(大学院博士前期課程)は、平成22年度の大学内の組織再編により、それまでであった物質工学専攻とエコロジー工学専攻が母体となって発足しました。環境・生命工学専攻は、環境と生命の双方に密接に関わる科学分野および関連する先端環境技術の教育・研究を行い、自然との共生を基礎にした人類の幸福・発展に貢献できる人材、かつ国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。</p> <p>環境・生命工学専攻は「生命・物質工学コース」および「未来環境工学コース」からなり、入学した学生はいずれかのコースに所属します。いずれの教育コースとも、狭い専門にとらわれない幅広い視野と思考能力をもち、国際的に活躍できる指導的技術者を養成します。「生命・物質工学コース」は分子機能化学分野および生命工学分野から構成され、基礎化学、応用化学、生命科学、バイオテクノロジー等に関する基礎・専門科目の修得と実験・研究を通じて、応用化学分野や生命科学分野で活躍できる人材の養成を目指します。「未来環境工学コース」は生態工学分野、先端環境技術分野から構成され、基礎化学、応用化学、化学工学、生態工学、先端エレクトロニクス応用技術等に関する基礎・専門科目の修得と実験・研究を通じて、社会の持続的発展に貢献する環境科学の素養を備えた人材の養成を目指します。本専攻は、化学、化学工学、工業化学、物質工学、生命科学の化学関連分野を学んだ皆さんの能力をさらに発展させるためのカリキュラム、指導体制が整っており、また、学内の他専攻・センター・研究所はもとより国内外の大学・研究機関と連携して研究活動を展開しています。入学後は、直ちに各研究室に所属し、指導教員の指導を受けて特別研究を開始します。研究室ごとに実施する演習を行うとともに、共通科目と専攻科目を履修します。</p> <p>「環境・生命工学専攻」(大学院博士後期課程)は、科学技術をより高度な水準へと発展させてゆくため欠かすことが出来ない、より優れた高性能・高機能な新規物質・材料の開発を推進するために、物質・材料に関連する学内の研究者を従来の学術分野の枠組みを越えて組織されています。こうした物質・材料の設計・合成・解析・応用に関する開発研究・教育を通じて、国際社会で活躍できる人材を養成しています。</p> </div> </div>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学入試課入試係 TEL：0532-44-6581；FAX：0532-44-6582 電子メールアドレス：nyushi@office.tut.ac.jp ホームページアドレス：http://www.tut.ac.jp/</p>

名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻 応用化学分野

<p>■募集学生</p>	<p>平成25年4月入学および平成24年10月入学 名古屋大学大学院 工学研究科 化学・生物工学専攻 応用化学分野 博士前期課程（修士課程）募集（留学生入試を含む） および 博士後期課程学生募集（留学生入試を含む）</p>
<p>■出願期間</p>	<p>願書受付期間 平成24年7月10日（火）～12日（木） ※詳細日程は学生募集要項（5月発行）をお取り寄せの上ご確認願います 名古屋大学大学院工学研究科HPからも確認できます（http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/admission/graduate.html）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【博士前期課程】 平成24年8月21日（火）～8月24日（金） 筆記試験（英語、基礎科目、専門科目）および面接 英語についてはTOEICまたはTOEFLのスコア提出により代替可 基礎科目：基礎物理化学、基礎有機化学、基礎無機化学、基礎分析化学、数学から4科目選択 専門科目：物理化学2問、有機化学2問、無機化学2問、分析化学1問のうち4問選択 過去の試験問題をホームページに掲載しています</p> <p>【博士後期課程】 平成24年8月21日（火）～8月24日（金） 筆記試験（英語、専門科目）および口頭試問 英語についてはTOEICまたはTOEFLのスコア提出により代替可 専門科目：物理化学2問、有機化学2問、無機化学2問、分析化学1問のうち2問選択 口頭試問はこれまでの研究についてのプレゼンテーション</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>名古屋大学 工学部・工学研究科</p> <p>IGER NAGOYA UNIVERSITY</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆「幅広い化学分野の専門知識を習得するために必要な基礎学力をもち、新しい化学の探求と化学を通じた社会への貢献に強い意欲をもつ人」を他大学・他分野から広く募集しています。 ◆当分野は、次世代の化学界を担う研究者を育成することをめざしています。このため、高度な専門知識と関連分野の幅広い知識を習得できるよう、基礎から最先端の教科を組み入れたカリキュラムで教育を行っています。さらに、各研究室では世界の第一線で活躍する教員がマンツーマンによってきめ細かく指導し、実践的研究能力の向上をはかっています。当分野の大学院生の多くのが、在学中に優れた研究成果をあげ、学会や一流学会誌にその成果を発表しています。外国からの学者の訪問や講演も頻繁に行われ、外国人留学生の数も増加しています。充実した研究環境のもと、世界最先端の研究に思う存分に打ち込めます。 ◆応用化学分野は基幹講座を構成する9つの研究室と物質制御工学専攻、結晶材料工学専攻、エコトピア科学研究所に所属する9つの研究室の計18研究室から構成されています。その研究内容は、機能高分子・機能触媒・機能性有機物質・ファイナセラムックス・固体機能物質などの合成や解析、生体分析や環境・エネルギーに関連する化学技術、さらに分子シミュレーションなど多岐にわたっており、化学に関わる幅広い分野を網羅しています。 ◆本教室では、博士課程教育リーディング大学院プログラムを推進しています。本プログラムにより、優秀な博士後期課程学生に対する教育研究環境の整備や経済的支援を充実させ、次世代を担う国際的なリーダーを育成します。
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>説明会を平成24年5月26日（土）に開催します ※詳細は下記URLに確定次第掲載します</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科I系事務室 TEL 052-789-4276 FAX 052-789-3180 http://www.apchem.nagoya-u.ac.jp/</p>

三重大学大学院工学研究科分子素材工学専攻

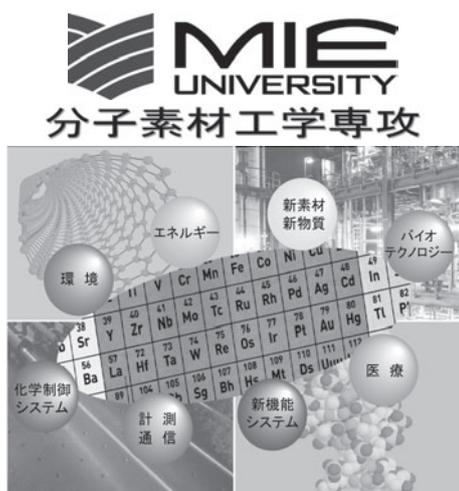
■募集学生

- 博士前期（修士）課程 分子素材工学専攻
 - 平成24年10月入学 社会人・外国人特別選抜 若干名
 - 平成25年 4月入学 一般選抜 55名、社会人・外国人特別選抜 各若干名
- 博士後期課程 材料科学専攻
 - 平成24年10月入学 一般選抜、社会人・外国人特別選抜 各若干名
 - 平成25年 4月入学 一般選抜 6名、社会人・外国人特別選抜 各若干名

■出願期間

- 第1次募集 平成24年 7月23日（月）～8月 1日（水）〔10月および4月入学〕
- 第2次募集 平成24年12月25日（火）～1月11日（金）〔4月入学〕

■試験内容



- 第1次募集
 - 博士前期（修士）課程
 - 一般選抜 平成24年8月20日（月） 学力検査 英語（TOEICスコアによる評価）、化学（物理化学、無機・分析化学、有機化学、生物化学から選択）
平成24年8月21日（火） 面接
 - 社会人特別選抜 平成24年8月21日（火） 口述試験および面接
 - 外国人特別選抜 平成24年8月20日（月） 学力検査 英語（TOEICスコアによる評価）・日本語、化学
平成24年8月21日（火） 面接
 - 博士後期課程
 - 一般選抜 平成24年8月20日（月） 筆記試験（英語）
平成24年8月22日（水） 口述試験および面接
 - 社会人特別選抜 平成24年8月22日（水） 口述試験および面接
 - 外国人特別選抜 平成24年8月22日（水） 口述試験および面接
- 第2次募集
 - 博士前期（修士）課程
 - 社会人特別選抜 平成25年2月 1日（金） 口述試験および面接
 - 外国人特別選抜 平成25年1月31日（木） 学力検査 英語（TOEICスコアによる評価）・日本語、化学
平成25年2月 1日（金） 面接
 - 博士後期課程
 - 一般選抜 平成25年1月31日（木） 筆記試験（英語）
平成25年2月 1日（金） 口述試験および面接
 - 社会人特別選抜 平成25年2月 1日（金） 口述試験および面接
 - 外国人特別選抜 平成25年2月 1日（金） 口述試験および面接

■インフォメーション



のびのびと研究に打ち込める広大なキャンパス

- 次代を担うための高い専門知識と実践技術をもつ、優れた人材を育成します。研究の喜びを実感しながら、広い視野からの判断力と創成力が養えます。
- 化学のほぼ全分野をカバーする11の研究室（高分子設計化学、有機精密化学、有機機能化学、計算化学、エネルギー変換化学、レーザー光学、分析環境化学、分子生物工学、有機素材化学、無機素材化学、生体材料化学）から構成されています。さらに、学内の他専攻と連携して「極限ナノエレクトロニクスセンター」、「次世代型電池開発センター」、「マトリックスバイオロジー研究センター」で研究を進めています。これらの研究活動を支える共同の機器分析施設があります。
- 教育研究コースと創成工学コース 博士前期課程では、入学後の希望によって「教育研究コース」の他に、産業現場におけるマネジメントスキルの育成を重視した「創成工学コース」を自由に選択し、各自の進路希望に適した科目を受講することができます。
- 社会人博士の育成を重視 社会に出てから博士の学位取得を志す人のために、「社会人博士後期課程」が設けられています。職業に従事しながら無理なく研究を進めるための指導体制を整えており、キャリアアップを目指す社会人にチャンスを提供することに力を入れています。
- 長期履修制度 職業への従事など個人の事情に応じて、柔軟に標準修業年限（前期課程2年、後期課程3年）を超えて履修（前期課程4年、後期課程6年を上限）し、学位等を取得できる制度があります。授業料の総額は、標準修業年限に支払うべき総額と同じです。

■問合せ先

社会人、外国人を含めた学外からの志願者を広く募集しています。希望研究室で個別に相談に応じますので、専攻ホームページに掲載の各研究室または分子素材工学専攻長にお問い合わせください。

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
 三重大学大学院工学研究科分子素材工学専攻
 電話：059-231-9428（平成24年度専攻長）
 Mail：bunso@chem.mie-u.ac.jp
 専攻ホームページ：http://www.chem.mie-u.ac.jp/

三重大学大学院生物資源学研究科



<p>■募集学生</p>	<p>三重大学大学院生物資源学研究科 平成25年 4月 入学博士前期課程学生募集・博士後期課程学生募集 平成24年10月 入学博士前期課程・博士後期課程学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>博士前期・後期課程(平成25年 4月入学第1次募集および平成24年10月入学) 平成24年 7月10日(火)～ 7月12日(木)9時～17時 博士前期・後期課程（平成25年 4月入学第2次募集） 平成24年12月11日(火)～12月13日(木)9時～17時</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程 平成25年4月入学の第1次募集および平成24年10月入学の試験:平成24年8月21日(火) ★一般選抜:外国語 (TOEICスコアの提出)、専門科目 (筆記試験)、面接 ★社会人特別選抜:小論文と面接 ★外国人留学生特別選抜:外国語 (筆記試験) と面接 平成25年 4月入学の第2次募集の試験:平成25年 1月22日(火) (試験科目は同じ)</p> <p>博士後期課程 平成25年4月入学第1次募集および平成24年10月入学の試験:平成24年8月22日(水) ★一般選抜:外国語 (TOEICスコアの提出)、専門科目 (筆記試験)、口述試験 ★社会人特別選抜:外国語 (TOEICスコアの提出) と口述試験 ★外国人留学生特別選抜:外国語 (筆記試験) と口述試験 平成25年 4月入学第2次募集の試験:平成25年 1月23日(水) (試験科目は同じ) 詳細は募集要項をご覧ください。 (http://www.bio.mie-u.ac.jp/)</p>
<p>■インフォメーション大学の写真など</p>  <p>中部地区唯一の練習船勢水丸。平成21年1月、新しく生まれ変わりました。</p>  <p>東に伊勢湾、西に布引山地。まさに山の頂から海の底に至る幅広い研究を行うにはぴったりのキャンパス。</p> 	<p>本研究科は、衣・食・住に関わる生物資源の生産・利用および環境の保全と修復を中心課題として自然の調和に配慮した教育・研究を展開することを目標としています。これによって、深い専門知識と目標達成能力および学際的・創造的視野をもつ先端的高度技術者と研究者を養成し、同時に生物資源学の確立と発展を目指しながら、その学術的・技術的成果を積極的に社会に還元することを目的としています。</p> <p>このような目的を達成するために、本生物資源学研究科には、資源循環学専攻・共生環境学専攻・生物圏生命科学専攻の3専攻があり、それぞれ博士前期課程と博士後期課程が設置されています。</p> <p>博士前期課程の講座 資源循環学専攻には物質循環学、循環生物学、循環社会システム講座があり、資源循環の立場から、生物資源の生産・加工・流通・情報・利用に関する分野を研究しています。 共生環境学専攻には地域保全工学、環境情報システム工学、森林資源環境学、自然環境システム学講座があり、地球環境や地域環境を対象とし、自然との共生関係を構築するための科学や技術を研究しています。 生物圏生命科学専攻には生命機能科学、海洋生物学、陸圏生物生産学、水圏生物生産学講座があり、生物資源の生命原理を生態系、群集、個体群、個体、器官、細胞および分子レベルで理解し、その成果を生物多様性の維持、持続的食料生産ならびに健康増進へ役立てることを目的に、基礎的、応用的科学を研究しています。</p> <p>博士後期課程の講座 資源循環学専攻:循環バイオ科学・物質循環システム学の2講座 共生環境学専攻:環境保全学・環境創成学の2講座 生物圏生命科学専攻:分子機能生命科学・生物資源応用科学の2講座</p> <p>連携大学院 共生環境学専攻には独立行政法人森林総合研究所関西支所、生物圏生命科学専攻には独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所と独立行政法人水産総合研究センター養殖研究所があります。</p> <p>ダブル・ディグリー制度 インドネシアのスリウィジャヤ大学との間で、ダブル・ディグリー（共同学位）修士プログラム「Program on Integrated Food Production and Management Planning（総合的食料生産・管理計画学プログラム）」を実施しています。</p> 
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成24年 4月27日（金）15：00 三重大学大学院生物資源学研究科にて</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学大学院生物資源学研究科事務室 TEL 059-231-9735 FAX 059-231-9634</p>

京都大学大学院工学研究科 化学系専攻群

<p>■募集学生</p>	<p>京都大学大学院工学研究科 化学系専攻群 平成25年度学生募集</p> <p>修士課程 <input type="radio"/>創成化学専攻群 <input type="radio"/>先端化学専攻群 <input type="radio"/>化学工学専攻</p> <p>博士後期課程 <input type="radio"/>材料化学専攻 <input type="radio"/>分子工学専攻 <input type="radio"/>合成・生物化学専攻</p> <p><input type="radio"/>物質エネルギー化学専攻 <input type="radio"/>高分子化学専攻 <input type="radio"/>化学工学専攻</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>出願期間 平成24年6月下旬を予定。</p> <p>修士課程試験日程 <input type="radio"/>創成化学専攻群 平成24年8月27～28日（予定） <input type="radio"/>先端化学専攻群 平成24年8月27～28日（予定） <input type="radio"/>化学工学専攻 平成24年8月27日（予定）</p> <p>博士後期課程試験日程 平成24年8月23～24日（予定）</p> <p>※平成25年度修士課程外国人留学生の学生募集も予定しております。出願期間は平成25年1月上旬、試験日程は平成25年2月中旬の予定。 ※詳細は学生募集要項(4月末頃から配布予定)あるいは下記URLをご参照願います。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>修士課程 <input type="radio"/>創成化学専攻群 英語・物理化学・有機化学・専門科目・面接（予定） <input type="radio"/>先端化学専攻群 英語・基礎科目・専門科目・面接（予定） <input type="radio"/>化学工学専攻 英語・専門科目1・専門科目2・面接（予定）</p> <p>博士課程 <input type="radio"/>学生募集要項（4月末頃から配布予定）あるいは下記URLをご参照願います。</p>
<p>■インフォメーションの写真など</p>	<p>創成化学専攻群</p> <p><input type="radio"/>材料化学専攻 無機材料、有機材料、高分子材料、ナノマテリアルを中心に、それらの構造と性質・反応性を分子およびナノレベルで解明しながら、新しい機能や性質をもった材料を化学的に設計するとともに、その創製方法を確立することを目指した研究・教育を行っている。</p> <p><input type="radio"/>高分子化学専攻 人々の生活から産業、医療に至るまで、幅広い分野に展開して豊かな人類社会と先端技術を支える高分子について、精密合成、反応、集合構造、さらに物性、機能の基礎研究と教育を行うとともに、高分子を基盤とする新たな先端学際領域の創成を目指して活動している。</p> <p>先端化学専攻群</p> <p><input type="radio"/>物質エネルギー化学専攻 物質の成り立ち、物質の構造・化学的性質、化学的エネルギー変換などに関する教育と研究を行う。化学の基礎知識・基盤技術に立脚し、機能物質の創造と解析、物質の合成とエネルギー生成の新しい触媒反応、エネルギーや資源の有効利用に関する研究を推進する。</p> <p><input type="radio"/>分子工学専攻 分子・原子・電子の微視的描像に基づき、生体関連機能性物質、高機能性の有機・高分子・無機材料、高機能性触媒、エネルギー・情報変換素子等の設計・開発を理論・実験両面から行う。分子論的視野を持って基礎から応用への展開ができる人材を育成している。</p> <p><input type="radio"/>合成・生物化学専攻 物質とその機能を創り出す学問である合成化学と、生物の機能を解明し利用する生物化学に関する教育・研究を行い、あわせてそれらの学際領域を開拓し、総合精密科学としての創造性豊かな化学分野の確立を目指す。</p> <p>化学工学専攻 高機能な物質や材料を化学的変換によって創出し、環境に優しく高効率に物質やエネルギーを生産する方法論について教育、研究を行う。化学工学の特徴は、対象とするプロセスから普遍的な要素を抽出し、動的特性を定式化し、最適システムを構築することにある。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>創成化学専攻群 平成24年4月2日（月）午後1時 京大桂キャンパス 平成24年4月21日（土）午後1時 京大東京オフィス（品川）</p> <p>先端化学専攻群 平成24年4月2日（月）午前10時 京大桂キャンパス</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒615-8510 京都市西京区京都大学桂 京都大学桂Aクラスター事務区教務掛 TEL：075-383-2077 EMAIL：090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp</p> <p><input type="radio"/>創成化学専攻群：http://www.s-ic.t.kyoto-u.ac.jp/fro/ja/admission/top <input type="radio"/>先端化学専攻群：http://www.s-ic.t.kyoto-u.ac.jp/fun/ja/admission/top <input type="radio"/>化学工学専攻：http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja</p>



京都大学桂キャンパスAクラスター



Aクラスター中庭とA4棟

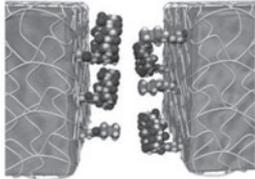
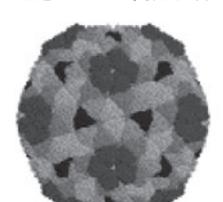
京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻 博士前期課程：定員 22名 一般入試、社会人対象入試、留学生対象入試を実施。 大学卒業見込者、高等専門学校専攻科修了見込者対象の推薦入試を実施。 博士後期課程：定員 6名 一般入試、社会人対象入試、留学生対象入試を実施。</p>
<p>■試験日程と内容</p>	<p>博士前期課程（修士課程） ■平成24年度（10月入学） 【社会人特別入試】 平成24年8月21日（火）外国語（英語）、口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成24年8月21日（火）外国語（英語）、基礎科目（*） 口述試験 ■平成25年度（4月入学） 【推薦入学特別入試】 平成24年6月30日（土） 口述試験 【一般入試】 第Ⅰ期 平成24年8月21日（火）22日（水） 外国語（英語）、基礎科目（*）、小論文、口述試験 第Ⅱ期 平成24年9月28日（金） 外国語（英語）、基礎科目（*）、口述試験 第Ⅲ期 平成25年2月 5日（火） 外国語（英語）、基礎科目（*）、小論文、口述試験 【社会人特別入試】 平成25年2月5日（火）外国語（英語）、口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成25年2月5日（火）外国語（英語）、基礎科目（*）、口述試験 （*）基礎科目は有機化学、物理化学、生化学、高分子化学の4科目のうちから1科目を選択！ 博士後期課程 ■平成24年度（10月入学） 【一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試】 平成24年8月21日（火）外国語（英語）、口述試験 ■平成25年度（4月入学） 【一般入試・社会人特別入試】 第Ⅰ期 平成24年9月28日（金） 外国語（英語）、口述試験 第Ⅱ期 平成25年2月 5日（火） 口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成25年2月 5日（火）外国語（英語）、口述試験 各入試の出願受付期間は本専攻あるいは本学のホームページをご覧ください。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>人類が今直面している大きな課題は、地球環境の保全と豊かな社会の発展の両立をいかにして実現するかにあります。「ものづくり」の立場からは、地球環境を守るために、石炭・石油を出発原料とする非循環型工業材料から生物資源由来の循環型材料へ生産を転換することが急務です。そのため、生物資源を基にした循環型材料（バイオベースマテリアル素材）の開発が世界中で行われており、そのいくつかの素材については電気製品や輸送部品などにも利用され始め、用途が拡大しつつあります。しかしながら、バイオベースマテリアル素材に対する研究開発は黎明期にあり、社会的認知も不完全であり、その研究・開発・啓蒙する人材が求められています。バイオベースマテリアル素材の分野で、我が国のものづくりが世界をリードしていくためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①バイオベースマテリアルに関する基礎ならびに応用研究の推進、 ②バイオベースマテリアルに関する我が国独自の技術開発、 ③コストに代表される経済的要素の克服、 ④バイオベースマテリアル素材ならびに製品に対する人々の理解、 ⑤バイオベースマテリアル素材の利用拡大、 <p>などを総合的に進め、それらをリードできる人材の育成が必要です。本専攻では、これらに意欲的に取り組める人材を、独自カリキュラムの下に育成します。</p> <p>世界的レベルにある本学のバイオベースマテリアル技術を基盤とした教育研究を展開し、これからの世界で主力となるバイオベースプロダクトに関する基礎研究、実用的な再生可能材料の開発などに取り組めます。</p>
<p>■本専攻の紹介ガイダンスの開催</p>	<p>■平成24年5月11日（金） 15時から2時間程度、研究室見学を含みます。 参加を希望される方は、biobased@kit.ac.jpまでご連絡ください。 バイオベースマテリアル学専攻の活動や詳細はホームページにて随時更新しますのでご覧ください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 ■京都工芸繊維大学入試課入試第三係 TEL 075-724-7162 FAX 075-724-7160 http://www.kit.ac.jp/ ■京都工芸繊維大学バイオベースマテリアル学部門事務室 TEL&FAX 075-724-7887 http://www.biobased.kit.ac.jp/</p>

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 物質工学専攻

■人材育成の目標	物質の構造、機能、変換の原理の解明及び新機能性物質、新素材の開発を目指した教育研究を行い、自然との調和を念頭に置き、自ら考え、追究する創造力豊かな人材の育成を目指す。																								
■募集人員	博士前期(修士)課程48名、博士後期課程は生命物質科学専攻として15名。																								
■年間入試予定	<p>物質工学専攻博士前期(修士)課程では以下の入試を行います。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">入試名</th> <th style="text-align: center;">出願期間</th> <th style="text-align: center;">入試日</th> <th style="text-align: center;">定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推薦入学特別入試</td> <td>平成24年6月7日～14日</td> <td>6月30日</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>一般入試(第Ⅰ期)</td> <td>平成24年7月17日～23日</td> <td>8月21日、22日</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>社会人特別入試(第Ⅱ期)</td> <td>平成25年1月9日～16日</td> <td>2月5日、6日</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>外国人留学生特別入試</td> <td>平成25年1月9日～16日</td> <td>2月5日、6日</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>一般入試(第2次募集)</td> <td>平成25年1月9日～16日</td> <td>2月5日、6日</td> <td>欠員がある場合のみ</td> </tr> </tbody> </table>	入試名	出願期間	入試日	定員	推薦入学特別入試	平成24年6月7日～14日	6月30日	10名	一般入試(第Ⅰ期)	平成24年7月17日～23日	8月21日、22日	38名	社会人特別入試(第Ⅱ期)	平成25年1月9日～16日	2月5日、6日	若干名	外国人留学生特別入試	平成25年1月9日～16日	2月5日、6日	若干名	一般入試(第2次募集)	平成25年1月9日～16日	2月5日、6日	欠員がある場合のみ
入試名	出願期間	入試日	定員																						
推薦入学特別入試	平成24年6月7日～14日	6月30日	10名																						
一般入試(第Ⅰ期)	平成24年7月17日～23日	8月21日、22日	38名																						
社会人特別入試(第Ⅱ期)	平成25年1月9日～16日	2月5日、6日	若干名																						
外国人留学生特別入試	平成25年1月9日～16日	2月5日、6日	若干名																						
一般入試(第2次募集)	平成25年1月9日～16日	2月5日、6日	欠員がある場合のみ																						
■各入試の試験科目	推薦入学特別入試：小論文、口述試験／一般入試：外国語、基礎科目Ⅰ～Ⅳおよび小論文から3科目選択／社会人特別入試：外国語(TOEICで評価)、口述試験／外国人留学生特別入試：外国語(TOEICで評価)、基礎科目。																								
■インフォメーション <h3 style="text-align: center;">物質工学専攻</h3>	<p>各研究室では以下のようなテーマについて研究を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パルスレーザーによって誘起される光物理化学過程の解明と化学への応用。 2. 原子衝突を利用した表面構造解析及び表面改質。 3. 金属錯体の光物性と光化学。 4. 気相における遷移金属化学及び無機物質表面ナノ構造の顕微分光。 5. 電気化学を基礎とする分離・分析法の開発と生体膜機能の解析。 6. 高立体選択的ならびに高効率な新規合成反応の開発。 7. 高機能性有機フッ素分子の効率的合成法の開発。 8. 光応答分子および分子集合体の設計・合成・光機能材料への応用。 9. 微量で界面を修飾する材料の設計、合成及び応用。 10. 機能性高分子とエラストマーの分子設計及び材料設計。 11. 精密重合と分子集積化にもとづく機能性高分子ならびに分子集合体材料の創製と特性解析。 12. 有機無機ハイブリッド型分子、錯体、高分子及び材料の創出。 13. ガラス・アモルファス工学、および材料の作製と構造・物性、高機能化。 14. 無機固体材料の合成と高温反応および計算機シミュレーションによる解析。 15. ミクロン・ナノスケールでの材料解析および物性評価。 16. 無機固体材料の創製と高温物性の評価。 17. 無機系粉体およびセラミック製造プロセスの開発。 																								
■年間入試予定	<p>生命物質科学専攻博士後期課程では以下の入試を行います。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>平成24年10月入学 一般入試・社会人、外国 人留学生特別入試</td> <td>平成24年7月17日～23日</td> <td>平成24年8月21日</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>一般入試(第Ⅰ期)</td> <td>平成24年9月10日～14日</td> <td>平成24年9月28日</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>一般入試(第Ⅱ期)</td> <td>平成25年1月9日～16日</td> <td>平成25年2月5日</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>社会人特別入試(第Ⅰ期)</td> <td>平成24年9月10日～14日</td> <td>平成24年9月28日</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>社会人特別入試(第Ⅱ期)</td> <td>平成25年1月9日～16日</td> <td>平成25年2月5日</td> <td>若干名</td> </tr> <tr> <td>外国人留学生特別入試</td> <td>平成25年1月9日～16日</td> <td>平成25年2月5日</td> <td>若干名</td> </tr> </tbody> </table> <p>各入試の試験科目：いずれの入試も外国語と口述試験</p>	平成24年10月入学 一般入試・社会人、外国 人留学生特別入試	平成24年7月17日～23日	平成24年8月21日	若干名	一般入試(第Ⅰ期)	平成24年9月10日～14日	平成24年9月28日	若干名	一般入試(第Ⅱ期)	平成25年1月9日～16日	平成25年2月5日	若干名	社会人特別入試(第Ⅰ期)	平成24年9月10日～14日	平成24年9月28日	若干名	社会人特別入試(第Ⅱ期)	平成25年1月9日～16日	平成25年2月5日	若干名	外国人留学生特別入試	平成25年1月9日～16日	平成25年2月5日	若干名
平成24年10月入学 一般入試・社会人、外国 人留学生特別入試	平成24年7月17日～23日	平成24年8月21日	若干名																						
一般入試(第Ⅰ期)	平成24年9月10日～14日	平成24年9月28日	若干名																						
一般入試(第Ⅱ期)	平成25年1月9日～16日	平成25年2月5日	若干名																						
社会人特別入試(第Ⅰ期)	平成24年9月10日～14日	平成24年9月28日	若干名																						
社会人特別入試(第Ⅱ期)	平成25年1月9日～16日	平成25年2月5日	若干名																						
外国人留学生特別入試	平成25年1月9日～16日	平成25年2月5日	若干名																						
■大学院入試説明会	毎年、12月中旬開催。詳しくはホームページ： www.kit.ac.jp を参照。																								
■問い合わせ先	物質工学専攻長：小林久芳 (kobayashi@chem.kit.ac.jp)																								

大阪大学大学院理科学研究科高分子科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>修士・博士課程学生募集 平成25年4月入学、および平成24年10月入学（博士後期課程）</p>
<p>■試験日</p>	<p>修士課程 4月入学：平成24年8月上旬の予定 博士課程10月入学：平成24年8月上旬、4月入学：平成24年2月上旬の予定。 (専攻ホームページにて、最新情報をご確認ください。)</p>
<p>■出願期間</p>	<p>修士課程 4月入学：平成24年7月上旬の予定 博士課程10月入学：平成24年7月上旬、4月入学：平成24年1月上旬の予定。 (専攻ホームページにて、最新情報をご確認ください。)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>修士課程：筆記試験：外国語、化学Ⅰ（基礎物理化学および基礎有機化学）、化学Ⅱ（物理化学・有機化学・高分子物理化学・高分子有機化学・生化学・生物物理化学より二科目選択）、口頭試問 博士課程：口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>分子認識に基づいてマクロスケールで刺激に応答する自己修復材料</p>  <p>右巻きらせん高分子鎖と 左巻きらせん高分子鎖</p>  <p>イネ萎縮ウイルスの構造</p>	<p>大阪大学の高分子科学専攻の特徴は、「理学」という基礎科学の立場から高分子物質を徹底的に理解することを目指している点にあります。全国でも唯一、理学研究科に所属する高分子研究機関であり、「基礎的研究に徹した高分子研究のメッカ」の一つとして世界にその名を馳せています。</p> <p>高分子科学専攻は3つの基幹講座と2つの協力講座からなり、各講座がそれぞれ複数の研究室から構成されています。基幹講座には、高分子合成化学、高分子反応化学、高分子物理化学、高分子溶液学、超分子科学、高分子固体構造論、高分子集合体科学の各研究室、協力講座には蛋白質構造形成、蛋白質結晶学、超分子構造解析学、環境安全化学の研究室があります。高分子の合成から、構造、物性、機能、さらには生命現象との関わりまで、非常に広い領域を深くバランスよく網羅しています。</p> <p>平成14年には21世紀COEプログラム「自然共生化学の創成」、平成17年には魅力ある大学院教育イニシアティブ「インタラクティブ大学院教育」、平成19年には「インテグレイティッド大学院理学教育」とグローバルCOEプログラム「生命環境化学グローバル教育研究拠点」に採択され、先端教育を実践してきました。このように高分子科学専攻では、常に新しい化学をめざした大学院教育に力を注いでいます。</p> <p>高分子科学専攻では、他大学出身者にも広く門戸を解放しており、毎年博士前期・後期課程とも多数の他大学からの入学者を受け入れています。博士前期（修士）課程への入学は、毎年前年の8月に一次募集の入学試験（募集人員：24名）を実施しているほか、11月に二次募集も実施しています。博士後期課程への入学は、4月入学については2月（募集人員：11名）に、10月入学については8月（募集人員：若干名）に入学試験を実施しています。詳しくは、専攻ホームページをご覧ください。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成24年6月上旬の予定。 (専攻ホームページにて、最新情報をご確認ください。) 於：大阪大学大学院理学系研究科 G棟1階塩見記念室</p>
<p>■問合せ先</p> 	<p>〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-1 大阪大学大学院理学研究科高分子科学専攻 今田勝巳 電話/FAX 06-6850-5455 http://www.chem.sci.osaka-u.ac.jp/graduate/mms/menu_j.html</p>

大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻

■募集学生	平成25年4月入学 博士前期課程学生募集（外国人留学生特別選抜を含む） 平成24年9月入学・平成25年4月入学 博士後期課程学生募集（社会人特別枠を含む）
■出願期間	願書受付期間 秋募集：平成24年7月6日（金）～7月10日（火）（土日を除く） 冬募集：平成25年1月25日（金）～1月29日（火）（土日を除く）
■試験内容	博士前期課程 秋募集：平成24年8月21日（火）筆記試験、22日（水）口述試験 冬募集：平成25年2月18日（月）口述試験 博士後期課程 秋募集：平成24年8月21日（火）口頭試問 冬募集：平成25年2月18日（月）口頭試問 博士前期課程、博士後期課程ともに、入学試験における英語の得点はTOEIC、TOFEL-iBT、TOEFL-CBT、またはTOEFL-PBTのいずれかの得点を換算して決定します。



サイエンス棟

■理念・目的

大学院分子科学専攻博士前期課程では、学部教育を基盤とし分子科学のより深い専門知識を修得し、分子・物質に関連する真理探究を可能とするとともに、新分野や学際領域にも踏み込んでいくことのできる確固とした基礎力を養成する。世界レベルの最先端分子科学研究に携わることを通して、物質や事象の本質を理解する能力と洞察力、英語によるコミュニケーション能力を重点的に鍛錬し、問題解決能力を備えた人材の養成を目指す。

分子科学専攻博士後期課程では、教員の個人指導のもと、各自が個別のテーマを設定して最先端の分子科学研究を遂行することを通して、物質や事象の本質を理解する能力と洞察力、英語によるコミュニケーション能力を重点的に鍛錬する。研究の遂行能力に加え、新たな研究計画の立案と評価を行うための能力とディスカッション能力を鍛錬し、自立した研究者・高度専門職業人として社会に貢献できる人材の育成を目指す。

■組織 3分野10研究グループよりなる。

◎分子創製科学分野

有機化学：有機分子を合成するための新しい方法論の開拓、新しい反応メディアを活用した環境にやさしい化学反応の開拓。

有機合成化学：次世代型医薬品になり得る生物活性天然物の全合成と、効率合成に必要な新しいタイプの反応の開発。

物理有機化学：高度にフッ素化された化合物の合成と応用。

◎分子機能科学分野

有機金属化学・錯体化学：同一分子内に複数の遷移金属中心を有する分子である「金属クラスター錯体」の合成・構造の解明・化学反応性を中心とするそれらの機能開拓。

機能分子設計学：遷移金属の特長を活かした精密有機合成反応、特に不斉合成法の開発、高度な不斉環境を有する化合物の合成・構造制御と機能開拓。

機能物質科学：導電性、光応答性、磁性等の機能性を有する新しい有機分子材料の開拓と物性解明。

マイクロ化学・生体触媒化学：化学反応を行なう新しい装置「マイクロフロー式反応装置」を活用した効率的・選択的な化学反応の開拓、生体触媒を利用する有機合成・糖質や金属錯体からなり超分子構造を発現する両親媒性分子の開発

◎分子解析科学分野

理論化学：化学反応を解析するための理論構築と理論計算と、光機能性分子における電子運動の理論的解析。

物理化学：パルスレーザーや高速測定法を活用した、光を吸収してエネルギーが高くなった分子の性質や化学反応の解明、新しい質量分析法を活用した、原子・分子・イオンが衝突しておこる現象の解明

計算化学：分子集合体、生体分子や光機能性材料の理論的研究。

■大学院入試ガイダンスの開催	予定なし
■問い合わせ先	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 ■大阪府立大学大学院理学系研究科 電話 072-254-9202 HP http://www.s.osakafu-u.ac.jp/ ■大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻 電話 072-254-9751 HP http://www.c.s.osakafu-u.ac.jp/

神戸大学大学院理学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>神戸大学大学院理学研究科化学専攻 博士前期（修士）課程・博士後期（博士）課程 平成25年度4月入学 および 平成24年度10月入学</p>
<p>■出願期間および試験日程（年間予定）</p>	<p>■博士前期（修士）課程（平成25年4月入学、平成24年10月入学） 出願期間：平成24年7月中旬、試験日：平成24年8月下旬</p> <p>■博士後期（博士）課程</p> <p>(1) 平成25年4月入学（第1期）、平成24年10月入学（第3期） 出願期間：平成24年7月中旬、試験日：平成24年8月下旬</p> <p>(2) 平成25年4月入学（第2期）、平成25年10月入学（第1期） 出願期間：平成24年11月中旬、試験日：平成24年12月初旬</p> <p>(3) 平成25年4月入学（第3期）、平成25年10月入学（第2期） 出願期間：平成25年1月中旬、試験日：平成25年2月中旬</p> <p>詳細が決まり次第、次のホームページに更新します。 神戸大学大学院理学研究科HP（入試）：http://www.sci.kobe-u.ac.jp/exam/index.htm</p>
<p>■試験内容（予定）</p>	<p>■博士前期（修士）課程 筆記試験：英語および化学（物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学、量子化学のうちから二科目を選択） 口頭試問</p> <p>■博士後期（博士）課程 口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p>   	<p>■化学は文字通り「物質の科学」であり、生命科学から物質科学まで極めて広範囲の分野の根幹を担います。化学専攻では、分子の構造・特性をとらえ物質の諸性質が発現する機構・原理を解明する基礎分子物性化学と、有用な機能や性質を持った物質の新合成法を創出する物質創製化学を二大柱としています。これらの基礎的各分野の一貫した教育により、世界水準の研究者の養成を行うとともに、社会的要請の高い問題発掘・解決能力を持つ高度な企業研究者の養成を目指すための教育研究を行います。</p> <p>■化学専攻は、物理化学・有機化学・無機化学の3つの講座から構成されています。物理化学講座は孤立分子・クラスター・固体表面の研究、有機化学講座は有機化合物の開発と合成および生命化学の研究、無機化学講座は溶液や固体がしめす物性の分子論的理解をめざした研究を展開しています。各講座は以下の9つの教育研究分野から構成されています。</p> <p>物理化学講座：分子動力学、物性物理化学、反応物理化学 無機化学講座：固体化学、溶液化学、状態解析化学 有機化学講座：有機反応化学、有機分子機能、生命分子化学</p> <p>■神戸大学大学院理学研究科では、それぞれの専門分野において幅広い知識をもつとともに、問題解決能力と学際的視点をもった創造性豊かな人材を養成することを目指しています。このため、自然への好奇心に富み探究に情熱をもつ人、科学に対して高い学習意欲とそのための堅実な基礎学力をもつ人、論理的な思考能力に優れた人、さらには、社会で科学知識をさまざまな形で活用したい人などを受け入れます。</p>
<p>■大学院オープンラボの開催：</p>	<p>第1回：4月28日（土）13：00より 第2回：6月23日（土）13：00より 場所：神戸大学理学部 内容(1) 全体説明(2) 各研究室見学（詳細は以下のホームページをご覧ください。）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院理学研究科化学専攻 津田明彦（TEL&FAX：078-803-5671、E-mail：tsuda@harbor.kobe-u.ac.jp） 化学専攻ホームページ http://www.chem.sci.kobe-u.ac.jp/index.html</p>

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

<p>■募集学生</p>	<p>情報科学研究科、バイオサイエンス研究科、物質創成科学研究科 平成25年度春学期入学（平成24年度秋学期入学を含む）学生募集 <u>博士前期（修士）課程</u>（大学学部卒・高専専攻科修了若しくは修了見込みであること） <u>博士後期（博士）課程</u>（大学院修士課程を修了若しくは修了見込みであること）</p>
<p>■出願期間</p>	<p><u>博士前期（修士）課程</u> 第1回：平成24年6月11日～6月13日（情報、バイオ、物質） 第2回：平成24年8月29日～31日（情報） 平成24年9月18日～20日（バイオ、物質） 第3回：平成25年2月12日～2月14日（情報、バイオ、物質） <u>博士後期（博士）課程</u> 第1回：平成24年8月20日～22日（情報） 平成24年9月3日～5日（バイオ） 平成24年7月30日～8月1日（物質） 第2回：平成25年2月4日～6日（情報、バイオ） 平成25年2月12日～14日（物質） ※詳細は本学の学生募集要項によりご確認願います。 http://www.naist.jp/admission/d01_04_j.html</p>
<p>■試験内容</p>	<p><u>博士前期（修士）課程</u> 情報科学研究科：英語、数学に関する口頭試問及び小論文、情報科学関連の質問。 バイオサイエンス研究科：小論文、バイオサイエンス関連、英語の質問。 物質創成科学研究科：小論文、物質科学関連の質問。 <u>博士後期（博士）課程</u> 面接による専門知識、英語能力の試問及びこれまでの研究概要、これからの研究計画の試問。 ※詳細は本学の学生募集要項によりご確認願います。 http://www.naist.jp/admission/d01_04_j.html</p>
<p>■インフォメーション</p>  	<p>本学は、学部を置かない国立の大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与することを目的とし、平成3年10月に設立されました。 日本が科学技術政策の中で掲げている重点4分野のうちIT（情報技術）、バイオ（生命科学）、ナノテクノロジー（超微細技術）の3分野と、それらの融合領域・境界領域を中心に研究教育を行っており、情報科学研究科、バイオサイエンス研究科、物質創成科学研究科の3研究科を擁しています。</p> <p>◆多様な学生の受け入れ 幅広い分野・立場の方が本学で研究できるような入試・カリキュラムを実施しています。 ・入学試験は年3回実施。 ・多様な分野からの入学者に対応したカリキュラム編成（「基礎科目」や「概論」等、幅広い講義・ゼミナール・課題研究） ・弾力的なカリキュラムの運用（複数指導教員制、他大学との単位互換性、研究指導委託、セメスター制の導入）</p> <p>◆修業年限の弾力化 博士前期（修士）課程は2年、博士後期（博士）課程は3年の標準修業年限ですが、修業年限の弾力化を図るため、優れた研究実績を修めた者は、博士前期（修士）課程は1年以上の在学で、博士後期（博士）課程は博士前期（修士）課程と合わせて3年以上の在学で短期修了することができます。</p>
<p>■学生募集説明会の開催</p>	<p>5月、8～9月、1～2月に全国各地で開催しています。詳細は下記URLで随時掲載いたします。http://www.naist.jp/admission/d01_05_j.html</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916番地の5 奈良先端科学技術大学院大学教育研究支援部学生課入試係 電話0743-72-5083/5084 E-mail: exam@ad.naist.jp http://www.naist.jp</p>

和歌山大学大学院システム工学研究科システム工学専攻

<p>■募集学生 (平成25年度入試予定)</p>	<p>博士前期課程・・・一般選抜：112名 学部3年次学生を対象とする特別選抜：若干名 社会人特別選抜：若干名 外国人留学生特別選抜：10名 博士後期課程・・・8名</p>
<p>■出願期間 (平成25年度入試予定)</p>	<p>博士前期課程・・・一般選抜：7月17日～20日 学部3年次生対象・社会人・外国人留学生の各特別選抜： 出願資格審査 10月25日締切 出願 11月15日～19日 博士後期課程・・・7月17日～20日 ※ 出願資格審査(必要な方)6月22日締切 ※ 高度知識技能職育成プログラム候補者審査(社会人の方)6月22日締切</p>
<p>■試験日 (平成25年度入試予定)</p>	<p>博士前期課程・・・一般選抜：8月23日～24日 学部3年次生対象・社会人・外国人留学生の各特別選抜： 12月1日 博士後期課程・・・8月25日</p>
<p>■試験内容 (平成25年度入試予定)</p>	<p>博士前期課程・・・○英語(必須)○専門科目(2問解答、内1問は志望クラスタが指定する問題から解答)○面接 専門科目：数学、データ構造とアルゴリズム、 情報ネットワーク、人工知能・離散数学、力学、 制御工学、電子回路、光・電磁気学、量子力学、 固体物性論、無機・分析化学、有機化学、 環境科学、環境計画、デザイン工学、情報工学 博士後期課程・・・出願書類審査(研究経過説明書、研究計画書等)および面接(口頭試問)</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>本研究科は、システム工学専攻のみの1研究科1専攻となっています。この形態を取ることで、研究科を構成する化学、物理学、環境科学、機械工学、都市工学、情報科学、デザイン科学など分野の異なる研究室が、幅広く分野横断的に教育指導や研究を行なうことができるように工夫されています。また、専攻内は「クラスタ」という共通性のある様々な分野の研究グループから成るフレキシブルなディビジョンに分かれ、演習形式の講義の実施や学位論文審査の単位として有効に機能しています。現在は、ナノマテリアル・ナノテクノロジー環境・物理工学・コミュニケーション科学・サイバネティクス・デザイン科学・知的計測・知的モデリングの8つのクラスタがありますので、各クラスタの詳細につきましては和歌山大学システム工学部およびシステム工学研究科のWEBページ(*1)をご覧ください。なお、化学関連の研究室には「無機・錯体化学」・「構造有機化学」(以上ナノマテリアルクラスタ)、「分析化学・機能性有機材料」・「ソフトマテリアル設計」・「水環境」(以上ナノテクノロジー環境クラスタ)、「物理化学」(物理工学クラスタ)があり、それぞれ特色ある研究を行なっています。各研究室の特徴や研究内容などの最新情報は、各研究室のWEBページに記載されています。</p> <p>博士後期課程に入学される社会人の方については、「高度知識技能職育成プログラム」が用意されています。このプログラムに採用されますと、遠地在住者に配慮した指導形態(指導教員の出張指導やメール指導など)が受けられる、また研究内容優秀な場合には授業料の半額が免除になるといったメリットがあります。この制度を利用して、多くの社会人の方に博士後期課程に来ていただきたいと考えています。</p> <p>(*1) システム工学部 http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/ システム工学研究科 http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/graduate/</p>
<p>■問い合わせ先</p>	<p>〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930番地 和歌山大学システム工学部教務係 TEL：073-457-8021</p>

**徳島大学大学院先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻・
総合科学教育部地域科学専攻**

■募集学生	先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻化学機能創生コースおよび総合科学教育部地域科学専攻基盤科学（理系）・環境共生分野 博士前期課程・博士後期課程（一般・社会人・外国人留学生） http://www.tokushima-u.ac.jp/admission/other_info/
■出願期間	<p>【先端技術科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試 出願：6月下旬、選考：7月上旬 一般・社会人・外国人留学生・10月入学者対象入試 出願：7月中旬～下旬、選考：8月下旬 早期卒業見込み者対象入試・学部3年次学生対象特別入試 出願：11月中旬、選考：12月上旬</p> <p>【先端技術科学教育部 博士後期課程】 一般・社会人・外国人留学生・10月入学者対象入試 出願：7月中旬～下旬、選考：8月中旬</p> <p>【総合科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試（H25年度入試導入：出願：6月中旬、選考：7月上旬） 一般・社会人・外国人留学生対象入試 Ⅰ期 出願：7月中旬～8月上旬、選考：8月下旬 Ⅱ期 出願：11月下旬、選考：12月下旬</p> <p>【総合科学教育部 博士後期課程】 出願：11月下旬、選考：12月下旬</p>
■試験内容	<p>【先端技術科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試 書類審査・面接・口述試験 一般・10月入学者対象入試 筆記試験（数学または物理学・専門科目）・TOEICまたはTOEFLのスコア 社会人・外国人留学生対象入試 筆記試験（専門科目）・面接・TOEICまたはTOEFLのスコア</p> <p>【先端技術科学教育部 博士後期課程】 書類審査・口述試験・筆記試験（英語）</p> <p>【総合科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試 口頭試問 Ⅰ期 筆記試験（英語・専門科目（化学））および面接 Ⅱ期 面接・口述試験</p> <p>【総合科学教育部 博士後期課程】 筆記試験（外国語または小論文）、面接および書類審査</p>
■インフォメーション	<p>【先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻】 現代の環境問題を精査してみると、大気圏、地圏、水圏環境などの生命及び地球環境の保全、食料、化学物質、廃棄物などの物質循環、生物多様性の保全と同時に、時代とともに変化した生物多様性に適合する新たな生命環境、物質循環を創生する必要が生じています。このような背景から、従来型の環境保全から、積極的に環境創生に適する学生教育を実施するため、化学応用工学および生物工学の各コースを横断的に融合させて、幅広い分野に関わる環境の問題点に積極的に対応できる人材の養成を目的としています。 化学機能創生コースの博士前期課程では、化学および化学技術に関するいくつかのことを深く研究し、その成果を社会に還元させることにより産業界の要請に応えることのできる学生を求めています。博士後期課程では、化学および化学技術に関する新しい原理、方法、現象等の探求を通じてその成果をさらに高度に発展させることに興味を持ち、将来、国際的、学際的な研究プロジェクトの中核となることをめざす学生を求めています。</p> <p>【総合科学教育部地域科学専攻基盤科学（理系）・環境共生分野】 21世紀の社会に求められている持続可能な共生社会を構築するため、基礎的学問分野の融合・総合が不可欠であることを深く理解し、基盤化学や環境共生化学の立場から地域が抱える諸問題を理解し、持続可能な社会の実現・発展に向けて地域社会に貢献できる人材を養成しています。 博士前期・後期課程を通し、基盤科学（理系）分野では基盤化学、また環境共生分野では環境共生化学から地域社会をリードできる学生を求めています。</p>
■問合せ先	出願時期や試験内容等は変更される場合があります。募集要項で確認してください。 【先端技術科学教育部】 徳島大学工学部学務係 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 電話088-656-7315～7317 【総合科学教育部】 徳島大学総合科学部学務係 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1 電話088-656-7108

広島大学大学院理学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>大学院で高度な化学の専門的知識や技法を学ぶために必要な基礎学力を有し、絶えず自己啓発努力を重ね、積極的に新しい分野を開拓していく意欲に富む学生を、学部教育を受けた分野にとらわれず広く受け入れます。</p>
<p>■試験日及び出願期間（予定ですので、ホームページで御確認ください）</p>	<p>○博士課程前期 (平成25年4月入学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試：(試験日) 平成24年7月2日(月) (出願期間) 平成24年6月18日(月)～6月22日(金) ・一般選抜：(試験日) 平成24年8月23日(木)・24日(金)(予定) (出願期間) 平成24年7月27日(金)～8月3日(金) <p>○博士課程後期 (平成24年10月入学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜、社会人特別選抜： (試験日) 平成24年8月23日(木)・24日(金) (出願期間) 平成24年7月27日(金)～8月3日(金) <p>(平成25年4月入学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜、社会人特別選抜： (試験日) 平成25年2月12日(火)～2月18日(月) (出願期間) 平成25年1月28日(月)～2月1日(金)
<p>■試験内容</p>	<p>○博士課程前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦入試：面接試問 ・一般選抜：外国語(英語)、専門科目(化学) <p>○博士課程後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜、社会人特別選抜：口述試験
<p>■概要</p>	<p>当専攻は、基礎化学の全分野を網羅するように11の研究グループを擁しています。これらの研究グループは教育・研究の活性化と円滑化を図るために、分子構造化学大講座と分子反応化学大講座に大別され、それぞれ、化学物質を構造と反応の両面からとらえ、互いに連携を保ちつつ独自の研究活動を行っています。それぞれの大講座には、対象とする物質あるいは研究手法によって、物理化学・無機化学・有機化学の系列があり、最新の物理的・化学的手段によって活発に研究が行われています。これらの研究には、物理学・物性学と密接に関連する分野や生物学や地学に関する分野も含まれており、基礎科学の研究を推進することにより高度な研究者および技術者を養成し、社会の要請に応えることに努めています。現在、化学工業、石油、医薬品、電子工業、金属、繊維、製紙、セラミックス、電力、ガス等化学に関するあらゆる業界と大学・官公庁等の研究機関に人材を送り込んでいます。本専攻の学生(博士課程前期・後期)は、基礎科目、専門科目に関する講義およびセミナーを受講するとともに、主に所属研究グループの教員による研究指導を受けます。</p> <p>○化学専攻ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・http://home.hiroshima-u.ac.jp/chemsci/index.html <p>○博士課程前期入学試験過去問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・http://home.hiroshima-u.ac.jp/chemsci/admission/previous_info.html
<p>■問い合わせ先</p>	<p>○理学研究科学生支援グループ(大学院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話：082-424-7317 / Fax：082-424-2426 ・E-mail：ri-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp <p>○平成24年度専攻長 灰野 岳晴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話：082-424-7427 ・E-mail：haino@sci.hiroshima-u.ac.jp

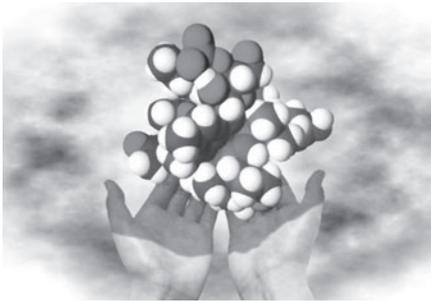
九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群（応用化学）

<p>■募集学生</p>	<p>九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群（応用化学） （物質創造工学専攻／材料物性工学専攻／化学システム工学専攻） 平成25年 4月入学 修士課程（一般）、博士後期課程（一般、社会人） 平成24年10月入学 博士後期課程（一般、社会人）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■平成25年4月入学： 修士課程（一般） 出願：平成24年6月下旬～7月上旬（予定） 試験：平成24年8月20～21日 博士後期課程（一般） 夏季出願：平成24年6月下旬～7月上旬（予定） 夏季試験：平成24年8月27日 （一般、社会人）春季出願：平成25年1月中旬（予定） 春季試験：平成25年2月下旬（予定）</p> <p>■平成24年10月入学： 博士後期課程（一般、社会人） 出願：平成24年6月下旬～7月上旬（予定） 試験：平成24年8月27日</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程（一般選抜）：筆記試験（専門科目、英語）及び面接を行う。 専門科目は「機能物質化学系科目」、「分子システム工学系科目」のいずれかを受験する。詳細は募集要項（工学府HP入試情報）を参照。</p> <p>■博士後期課程（一般選抜）：専攻科目及び修士学位論文（修士課程終了見込みの者は研究経過報告書）について筆記又は口頭試問を行う。</p> <p>■博士後期課程（社会人特別選抜）：これまでの研究成果および入学後の研究計画等に関して口頭試問を行う。</p>
<p>■インフォメーション</p>  	<p>物質創造工学専攻 本専攻では新しい機能性有機物質の開発、原子・分子レベルからの高機能セラミックスの設計、従来にない高度な機能を持つ触媒や光・電子機能分子材料の開発、超分子化学、分子の自己組織化に基づくナノ材料化学などを進めています。さらに、有機化学と無機化学、さらには生命分子科学の融合化・複合化により、分子システム科学を基盤とする新しいサイエンスとテクノロジーを開拓しています。</p> <p>材料物性工学専攻 本専攻では無機、高分子、有機、金属、バイオ、半導体及びそれらのナノ粒子、ハイブリッド材料などを研究教育の対象とし、これら機能材料の物理的、化学的、生物的、力学的特性をナノ領域からマクロ領域にわたる定量的な評価・制御に関する研究教育を行っています。次世代の太陽電池や燃料電池、排ガス浄化触媒、革新電池の開発を始めとする新奇的なエネルギー転換や環境関連材料化学の研究教育を行なっています。</p> <p>化学システム工学専攻 本専攻では新しい化学・物理現象、新規物質、生体生命の新しい機構などを発見し体系化することを追求するとともに、原子分子レベルから、生体情報レベルまでの複雑なシステムを総合的に解析、高度化、創造するための研究教育を行います。新機能を有する物質の発見と機能発現の開発、原子分子レベルで物質を測定して新しい性質を見出す計測システムの開発、化学情報の変換システムの設計、などの研究教育を行っています。</p> <p>上記3専攻の化学系研究教育に携わる教員は応用化学部門（研究組織）に所属しています。本部門の研究は、人類の繁栄に役立ち、環境を守り、生命に学び応用する化学に焦点を当てています。産業の基盤となる化学工業を支える基礎研究に加え、応用展開に結びつくような研究も活発に行っています。本部門は先端化学の卓越した研究拠点（COE）として国際的にも良く知られています。国内の他大学や研究所、企業との連携、国際共同研究、海外連携も活発になされています。応用化学部門に所属する研究室については下記HPをご覧ください。 応用化学部門HP：http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~appchem/</p>
<p>■問い合わせ先</p>	<p>〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学工学部等教務課教務係 Tel：092-802-2724 大学院入試関連HP：http://www.eng.kyushu-u.ac.jpより、入試情報ページを参照</p>

九州大学大学院理学府化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>(1) 平成25年度 理学府修士課程学生募集 (一般選抜および自己推薦方式による選抜) (2) 平成25年度 理学府修士課程学生募集 (社会人特別選抜) (3) 平成25年度 理学府博士後期課程学生募集 (一般選抜) (4) 平成25年度 理学府博士後期課程学生募集 (社会人特別選抜10月入学) (5) 平成25年度 理学府博士後期課程学生募集 (社会人特別選抜4月入学) (6) 平成25年度 理学府修士課程/博士後期課程学生募集 (外国人留学生特別選抜)</p>
<p>■年間予定</p>	<p><u>修士課程学生募集の日程</u> (1) 一般選抜および自己推薦方式による選抜 出願期間: 平成24年7月上旬～中旬 自己推薦方式による選抜の口頭試問: 平成24年7月下旬～8月上旬 一般選抜試験の学力検査および口頭試問: 平成24年8月下旬 (2) 社会人特別選抜 出願期間: 平成24年7月上旬～中旬 口頭試問: 平成24年7月下旬～8月上旬 (6) 外国人留学生特別選抜 出願期間: 平成24年12月中旬 学力検査および口頭試問: 平成25年1月下旬～2月上旬</p> <p><u>博士後期課程学生募集の日程</u> (3) 一般選抜 出願期間: 平成25年1月上旬～中旬 口頭試問: 平成25年1月下旬～2月上旬 (4) 社会人特別選抜10月入学 出願期間: 平成24年7月上旬～中旬 口頭試問 (必要に応じて筆記試験): 平成24年8月下旬～9月上旬 (5) 社会人特別選抜4月入学 出願期間: 平成25年1月上旬～中旬 口頭試問 (必要に応じて筆記試験): 平成25年1月下旬～2月上旬 (6) 外国人留学生特別選抜 出願期間: 平成24年12月中旬 口頭試問: 平成25年1月下旬～2月上旬</p>
<p>■試験内容</p>	<p>・修士課程学生募集の試験内容 「一般選抜」では英語 (TOEICの成績) と化学 (無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、構造化学、生物化学の中から任意に3科目を選択) に関する筆記試験および口頭試問により可否を判定します。従って、受験時にTOEICの成績証明書が必要です。 また、一般選抜入試志願者の中で希望する者に対して、筆記試験を免除し口頭試問によって可否を判定する「自己推薦方式による選抜」を実施します。出願書類によって本選抜試験の対象者を決定します。本選抜試験の結果、筆記試験を免除されなかった者も、上記の一般選抜試験を別途手続きすることなく受験できますが、この場合筆記試験受験時にTOEICの成績証明書が必要です。 社会人特別選抜や外国人留学生特別選抜では、志望分野に関連する化学や英語に関する口頭試問などによって可否を判定します。</p> <p>・博士後期課程学生募集の試験内容 修士論文あるいはこれの相当するものを口演発表させ、それを中心として専門分野や関連分野に関する口頭試問で可否を判定します。社会人特別選抜では、必要に応じて英語および専門化学に関する筆記試験を行います。</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>九州大学大学院理学府化学専攻では、原子から小分子、複雑な分子、高分子、さらに生体を構成する巨大分子に及ぶ様々な階層の物質構成単位や原子・分子集合体に関して、元素の特性と分子構築の原理、化学反応と機能発現の機構、ならびに分子の設計と合成法などについて教育を行っています。最先端の理論および実験手法を用いることで、独創的な研究を遂行する能力を身につけ、将来、化学の研究、教育、技術開発および生産の分野で活躍できる専門家を育成すると同時に、倫理観に基づき真に人類社会に貢献できる人材の育成を目指しています。 このような観点から、「化学の分野で将来、指導的役割を果たす研究者、教育者、あるいは技術者として人類社会に貢献したい」という強い熱意と適性をもつ学生を募集します。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号 九州大学理学部等事務部学生係 TEL 092-642-2529, 2531 (ダイヤルイン) http://www.scc.kyushu-u.ac.jp</p>

熊本大学大学院自然科学研究科

<p>■募集学生</p> 	<p>熊本大学大学院自然科学研究科 物質生命化学専攻 博士前期課程（修士課程） 推薦入試、一般入試、社会人入試、外国人留学生入試 産業創理工学専攻 物質生命化学講座 博士後期課程（博士課程） 一般入試、社会人入試（平成24年10月入学を含む）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>●物質生命化学専攻 博士前期課程（修士課程） 推薦入試 平成24年 6月 5日（火）～ 6月 8日（金） 一般入試・社会人入試 平成24年 7月25日（水）～ 7月27日（金） ●産業創理工学専攻 物質生命化学講座 博士後期課程（博士課程） 一般入試・社会人入試（1次募集）平成24年 7月 25日（水）～ 7月27日（金） 一般入試・社会人入試（2次募集）平成25年 1月 7日（月）～ 1月 9日（水）</p>
<p>■試験内容</p> 	<p>●物質生命化学専攻 博士前期課程（修士課程） 推薦入試 試験日 平成24年 7月 7日（土） 試験科目 口述試験 一般入試 試験日 平成24年 8月23日（木） 試験科目 専門科目（化学）、英語（TOEICまたはTOEFLのスコア提出） 社会人入試 試験日 平成24年 8月23日（木） 試験科目 口述試験 ●産業創理工学専攻 物質生命化学講座 博士後期課程（博士課程） 一般入試・社会人入試（1次募集） 試験日 平成24年8月22日（水） 試験科目 口述試験 一般入試・社会人入試（2次募集） 試験日 平成25年1月23日（水） 試験科目 口述試験</p>
<p>■インフォメーション・大学の写真など</p> 	<p>●物質生命化学専攻の目指す教育・研究 現在、そして未来の社会の発展は、化学者が社会のニーズを的確に把握し、その種となる新材料・新技術を提供することにかかっています。熊本大学では、エネルギー、環境、生命の3分野への応用を念頭に置いて、社会発展に直結する「物質科学」、「生命科学」の研究と教育を行っています。これらの活動では、物質科学・生命科学と異分野との融合や基礎と応用を有機的につなぐための自由自在な視点、複眼的視点が重要です。「人々の幸福、産業の発展、さらには国や地域の発展に、化学を通じて貢献したい！」熊本大学は、そんな大志をもつ皆さんの創造性や独創性を引き出し、貴重な経験をしていただく格好の舞台となるでしょう。 豊かな歴史と文化をもつ中核都市・熊本。広大で多種多様な自然にも囲まれ、機能的で国際色豊かなキャンパスで過ごす経験は、学生の皆さんにとって格別のものでしょう。たくさんの方々が熊本大学で物質科学、生命科学の面白さを学び、充実感を感じ、そして一流の研究者・技術者として国際社会へと羽ばたいていただくことを、私たちは強く願っています。</p> <p>●最先端研究プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆有機エレクトロニクス材料 ◆光機性能性ナノ材料 ◆液晶・表示材料 ◆Bio燃料電池用酵素電極 ◆高分子材料ナノ構造制御 ◆発光ナノシート材料 ◆超分子機能材料 ◆有機・無機ハイブリッド ◆光応答性材料 ◆貴金属ミニマム化触媒 ◆理論計算による分子機能解析と分子デザイン ◆環境微生物 ◆ケミカルリサイクル技術 ◆環境浄化触媒 ◆高感度バイオセンサ ◆迅速バイオマス変換技術 ◆超臨界流体化学 ◆バイオコンジュゲート ◆キラル認識分子素子 ◆ナノカーボン電極 ◆医療用センサ・デバイス ◆遺伝情報解析分子素子 ◆バイオテクノロジー <p>●国際連携・企業連携のための学生支援 総合科学技術共同教育センター（GJEC） 国際共同教育部門 海外大学院研究連携の推進・外国人招聘講師による講義 学生の海外派遣支援・国際学会参加支援 国内共同教育部門 産学官連携共同研究の推進・国内招聘講師による講義</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>本学ホームページを参照下さい。（募集要綱等、ダウンロードできます） http://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/nyushijyouhou/daigakuin/shizenkagaku.html</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2丁目39-1 熊本大学 自然科学系事務ユニット 大学院教務担当 TEL 096-342-3013 熊本大学 大学院自然科学研究科 物質生命化学専攻 事務室 TEL 096-342-3654 http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/index-J.html</p>